大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　十月二十八日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵稅一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三一〇五 營業局專用(3)三二〇五
發行人 十河榮忠　編輯人 松本勇　印刷人 水越內之介

上海總攻擊敵の死傷 十萬に達せん！

鹵獲兵器亦莫大の見込み

【上海廿七日發國通】今回の上海戰は日露戰爭の旅順包圍戰にも比すべき大激戰が展開されたので、去る廿三日の總攻擊開始までに敵は既に廿數萬の損害を蒙りたるものと推算されてゐたが、廿三日の總攻擊開始以來數十キロに亙る戰線各所に激戰が展開され、續いて行はれた猛追擊戰に敵の損害は少くも十萬に達し、鹵獲兵器また極めて多く小銃彈の如きは百萬發以上に達する見込みである

二十三日迄の 敵死傷四十二萬五千

【東京國通】陸軍省發表＝十月廿三日までにおける北支及び上海戰線における彼我損害は陸軍省新聞班の調査によれば、敵の遺棄死體北支方面約四萬四千二百七十、上海方面約六萬一千七百、計十萬五千九百七十にして、死傷者の合計は北支方面約十七萬五十、上海方面約廿五萬、總計四十二萬五千と推定せられわが軍の戰死傷者は北支四千四百六十七、上海五千百七十三、合計九千六百四十名である

なほ陸軍省調査による支那軍損害概數は左の如くである（一計ー調査日時、敵遺棄死體數、鹵獲品の順）

▲津浦線方面 十月廿迄ー一萬二千二百七十、野砲四、山砲四、重機銃二、輕機八十三、貨車廿七、迫擊砲廿五、軍用自動車五十二

▲京漢線方面 十日廿五日迄ー約二萬五千（多數ある見込みなるも未だ詳かならず）

▲山西、綏遠方面 十月廿日迄ー推定七千（多數ある見込みなるも詳かならず）

▲上海方面 十月廿三日頃迄ー六萬一千七百、小銃六千三百、重機二百、迫擊砲七十、輕機一千、手榴彈九千、迫擊砲彈六百、小銃彈七十八萬三千

▲合計敵遺棄死體十萬五千九百七十

右のうち上海方面の敵の死傷者數は廿三日迄の通計にして上海方面は廿三日以後の大場鎭突破後敵に與へたる損害不明なり、然し陣地戰は元來突破後敵に大打擊を與へるものなるをもつて敵の損害はその後莫大なるものあるべしと推定される

京滬鐵道遮斷に 敵の打擊決定的

皇軍驀進また驀進

【上海廿七日發國通】廿三、四兩日に亙る馬橋宅、李石附近の激戰は壯烈無比で敵の遺棄死體七、八百、洛陽橋附近の戰鬪でも敵の遺棄死體七、八百の多數に達してゐる、大場鎭の攻略では石井、田上兩部隊の巧みなる大迂回戰で敵陣地の側面および後方をおびやかしたのに引續き細見部隊の果敢なる敵陣蹂躪、福井部隊の猛攻と相俟つて遂に之を占領した、之により戰況はますます進展、江灣鎭方面に進出中の飯塚、津田兩部隊は廿六日夜來猛進に猛進を續け敵陣を突破、廿七日午前六時迄には早くも京滬、滬杭甬兩鐵道交叉點にまで進出、江灣鎭占領の谷川部隊の麾下各部隊と連繫、閘北方面の敵を包圍潰滅せしめた、わが軍更に蘇州河および南翔方面に殺到しつゝあるが、わが正確なる空爆砲擊は地上部隊とゝもに潰走する敵に多大の損害を與へた

嘉定、南翔、蘇州河を繫ぐ敵の防禦陣地も一擧に突破せんとしてゐるわが進擊により、京滬鐵道を遮斷されたことは南京、上海間の交通幹線を中斷されたことゝなり、敵の受ける精神的打擊に至つては戰略的打擊以上に甚大なるものがあらう

南翔、江橋鎭を 今早曉來猛攻

【上海廿八日發國通】上海軍報道部廿八日午前十時半發表

一、南翔に向ひ攻擊中のわが〇〇部隊は夜に至るも攻擊を續行し今早朝小南翔東側南北の線に進出し敵を西方に壓迫しつゝあり

二、蘇州河の線に到着せるわが〇〇部隊は續いて攻擊を實施し一部をもつて今早朝より江橋鎭附近の敵を猛攻中なり

閘北攻擊戰獲物

【上海廿七日發國通】閘北攻擊における敵の損害は廿七日夕刻左の如く確認された

一、敵の遺棄死體約九百

一、捕虜＝正規兵四十、便衣隊多數

野田、野龜機 敗走兵に肉彈爆擊

【上海廿七日發國通】二十七日午前九時四十三分野田辰夫（二〇ー三重縣出身）および野龜審（二二ー岡山縣出身）の兩二等航空兵曹は、眞茹鎭西方三哩の地點に退却中の敵密集部隊を認め、獲物を狙ふ荒鷲の如く追跡猛爆中、突如機體は火を吐き敵部隊の眞只中に突入、自爆肉彈となつて敵兵數十名を吹き飛ばし壯烈なる戰死を遂げた、兩二等兵曹とも南京空爆に參加すること三回、上海爆擊廿六回に上る皇軍の海の荒鷲である、江草大尉は語る

野田は柔道四段のスポーツマンで眞に飛行家らしい飛行家だつた、野龜は柔道二段の勇者で勇猛果敢な人であつた、空の戰爭はこれからだのに今彼等を失つたのは殘念に堪へぬ

事變寫眞

我が軍の總攻擊に完全に廢墟と なり無人境となつた上海閘北敵陣地

畏し大御心

―在支居留民團に對し 有難き御沙汰を賜ふ―

【東京國通】天皇陛下には各地戰線に活躍する將兵の上に日夜深く大御心を垂れさせ給ふと承るが、また北支・中南支と硝煙の中に踏み留まつて皇軍を助け各地の復舊に協力國威の宣揚につとめつゝある居留邦人達の上にも絕えず大御心をそゝがせ給ふと承るは畏き極みで、今度北支軍狀視察のため四手井侍從武官御差遣に際し在天津外務省員に對して御紋章附煙草を、また居留民團に對しては金一封御下賜の御沙汰があり、同武官は廿六日それぞれ傳達を終れる旨廿七日同武官より宮內省に入電があつた、洩れ承るに追つて北京その他においても同樣の御沙汰あらせられる御由にて有難きおぼしめしに關係者一同恐懼感激申上げてゐる

軍令部總長宮

松井軍司令官宛御祝電

【東京國通】上海方面において皇軍が空陸海よく協力して遂に支那軍を總退却せしむるに至り、同方面におけるわが軍の大勝は愈々決定的となつたので、伏見軍令部總長宮殿下には廿七日長谷川司令長官宛て御祝電を發せられたが同時に松井軍司令官宛左の御祝電を賜つた

上海派遣軍が勇戰力鬪上海方面において多大の戰果をあげられたるを祝し、また戰死傷者に對し深厚なる同情を表す

なほ米內海相は長谷川司令長官ならびに松井軍司令官宛同日祝電をそれぞれ發した

伏見總長宮殿下 御祝電

【上海廿七日發國通】畏くも伏見軍令部總長宮殿下におかせられては、廿七日の戰捷を嘉させ給ひ左の祝電を賜つた

〇〇艦隊は勇戰奮鬪して上海の派遣軍隊と緊密なる共同により上海方面において多大の戰果をあげられしことを祝す、將兵一同の勞苦を多とす、また戰死傷者に對する深甚なる同情を表す

正午頃御祝電を拜した第〇艦隊將兵は恐懼感激するとゝもに士氣ますますあがつてゐる

前線將兵に 感謝

陸海兩相談話

【東京國通】陸海軍の共同作戰により皇軍は上海方面戰線にて大勝を博するに至つたので廿七日夜杉山陸相、米內海相はそれぞれ左の如き談話を發表、前線將兵の勞を犒ふと共に戰果を收めるため今後一層の奮鬪を要望した

▲杉山陸相談話 上海におけるわが陸軍部隊が廿三日朝來大場鎭に對して總攻擊を開始交戰僅か三日餘にしてこれを占據し、次で廿七日江灣鎭を占領してこゝに上海戰局の大勢を決定するに至らしめたことはまことに慶福に堪へない、しかしながらわが軍は上海において最も困難なる敵前上陸を敢行して以來二ヶ月餘にわたり地形、天候、國際關係等あらゆる困難を克服してよく海軍と協力して敵の堅陣を攻略して來た今日までの辛苦を思ふとまことに感激に堪へない、上海戰局はわれに頗る有利に展開したとはいへまだまだ幾多の艱難が前途に橫つてゐることであるから我々は勝つて兜の緒を締めますます擧國一致の實を擧げんことを希望して止まない次第である

▲米內海相談 上海方面におけるわが陸海軍が見事なる共同作戰をもつて地勢的に又國際關係上極めて困難なる內に堅固なる陣地を攻擊し遂にその主要防禦線を突破し潰走する敵を掃蕩して赫々たる偉功を奏しつゝあることはまことに慶賀に堪へないところであつて、前線將士の忠烈と勞苦に對し萬腔の感謝と讚辭とを呈したい、惟ふに時局の前途は更に遼遠なるものあり、第一線の將兵も銃後の國民もいよいよ堅忍不拔の志を固くし、勇往邁進してよく所期の目的を達成せんことを祈つて止まない次第である

長谷川司令長官の感謝電

【上海廿七日發國通】閘北總攻擊の成功に對し第〇艦隊長谷川長官は陸戰隊及び航空隊に對し左の感謝電を發した

△陸戰隊宛 陸戰隊は今次事變發生以來七十餘日の永きにわたり終始寡兵をもつて大軍に當り今次陸軍總攻擊に參加して一擧に閘北の堅陣を占據せり、こゝに陸戰隊將兵一同の勞を多とすると共に時局一層重大なるをもつて諸將士の愼重を望む

△航空隊宛 今回の總攻擊に協力し絕大なる戰果を擧げたることは一に航空隊將兵一同の勞によるところ多し、しかも時局は一層重大にして今後の戰果は航空隊の奮鬪に待つもの極めて大なり切に將士の自愛を望む

各地戰況（廿八日朝まで）

▲上海方面 陸海空軍一齊に起つて江南の原野に壯烈な總攻擊の火蓋を切るや、大場鎭の堅壘まづ潰え、果敢な中央大突破作戰に成功した皇軍は、相ついで江灣、閘北一帶の敵陣を席卷、廿七日全軍主力は堂々疾風の如く京滬線以南蘇州河の線に進擊、陸戰隊戰車隊は遠く要衝眞茹鎭を占領して敵の退路を遮斷、古今に絕する大潰滅戰を展開、百雷の爆擊、地軸を搖がす砲擊、怒濤の如き地上部隊の突擊に敵の死傷廿萬、歷史的大捷の榮冠は燦然皇軍の上に輝く

▲京漢、津浦線方面 兩線敵部隊はすでに戰意を喪失して退却又退却、京漢線豐樂鎭を完全に確保した列車追擊隊は、空の荒鷲部隊と協力、支那軍の一兵と雖も大黃河を生きて渡さじと反復猛擊を加へつゝあり、津浦線南下部隊は小獱にも我を邀え擊つ韓復榘軍を隨所に擊破、着々濟南城攻略の師を進めつゝあり、禹城の如きは皇軍の一投足にして忽ち潰えんとしてゐる

▲山西方面 共產軍の據點山西省城太原を屠るべく正太線より進擊の鯉登、小林各部隊は、廿七日つひに娘子關の三壘を突破、楡次方面に潰走する敵を追つて壯烈果敢な猛進擊戰に移り、平定に進擊、又同蒲線忻口鎭の敵陣を一望に睥睨する東西北にわたる三方面の高地を確保した察哈爾作戰軍は廿七日朝來止めの猛擊を加へ、後方督戰隊と皇軍の强壓に敵兵の死傷算なく、死屍全山を埋め、鬼哭愁々堅壘まさに陷んとし、省城太原城の運命迫る

正太線に沿う三路を 太原目がけ殺到

先陣早くも平定平野到着

【北京廿七日發國通】敵が北支最後の命脈として中央軍約十ヶ師と共產軍たる朱德軍の一部を集中して必死の

抵抗 を續けた娘子關の陷落と、我軍の平定平地突入によつて敵の山西省境東方防備の第一策源地は全く潰滅したわけである

即ち正太線方面の省境防備には平定平地が第一、壽陽平地が第二、太原平地が第三の何れも策源地として戰略上の重要地點であり、第一の策源地たる平定平地は省境に標高一千米乃至一千五百米の大行山脈の天嶮を擁する不落の要地であつたが、廿六日小林部隊は遂に娘子關を奪取して西北方に進擊、更に鯉登部隊は正面より新關の堅陣を攻擊するとゝもに井陘方面より肅々と南下、大迂回せる森本部隊は廿五日東回鎭の敵を擊退、潰走する敵を追擊して柏井驛にあつた二ヶ師を潰滅せしめ更に軍を返して新關の敵陣の背後を衝き遂に敵をして潰滅せしめ、廿七日午前十時にはその先陣は早くも平定平地に殺到したのである、かくして山西の省城太原に入る道は峨々たる峻嶮を縫ふ正太鐵路と、舊關、新關を經て石門口、平定に入る通路と、測魚鎭より東回鎭、石門口を經て井陘平地に入る西方の三線のみであるが、わが軍はこの

三線 へ潮の如く殺到 遂に山西防備の難關は突破された、かくして太原陷落への一歩が進められたわけである

軍司令部發表

【天津廿七日發國通】軍司令部廿七日午後四時卅分發表＝

一、正太線南方地區において大行山脈の難嶮を突破大迂回中なりし森本部隊は、廿五日東回鎭（井陘の西南方卅九キロ）附近の敵を擊退して廿六日柏井驛（新關西南方十六キロ）附近に進出し、該地附近に陣地を占領しありし約二百の敵を擊滅したる後に向ひ北進し、同日夕刻柏井南方の線を占領、完全に敵の背後を遮斷せり、柏井驛附近における敵の遺棄死體は三千を下らず

二、廿七日午前十時までの戰況は左の如し

イ、鯉登部隊は廿七日朝攻擊前進を起し早くも午前九時新關附近の敵陣地を突破せり

ロ、森本部隊は鯉登部隊の新關突破に協力後一部を柏井附近に殘留し、主力は再び反轉して新關、平定の縣道上の敵を擊破しつゝ西進し、午前十時平定平地の關門たる石門口に進入せり

ハ、小林部隊は娘子關突破後敵を急追して午前十時東武庄（娘子關西南方六キロ）の線に進出せり

三、河北戰線省境の敵兵力は約十ヶ師にしてその半數は潰滅せり、戰場に遺棄せられたる敵死體は總計一萬を超へ、武器彈藥等多數の鹵獲品あり、わが損害は極めて僅少なり

一、鹵獲品＝彈藥數十萬發、小銃、機關銃若干

なほ蘇州河において敵の軍用チヤンク四百隻を鹵獲した

陸戰隊司令塔上 大軍艦旗 揭揚

【上海廿七日發國通】閘北における敵の堅壘北停車場、鐵路管理局、商務印書館が相次いで陷落、日章旗が翩翻として閘北の空を壓するや之に應へて廿七日午前十時卅五分陸戰隊本部屋上の司令塔望樓には第一次上海戰名殘りの海軍旗がするすると揭げられ遙か彼方の激戰場より感激の淚をもつてこれを望む一瞬は劇的な場面であつた

小林中尉等負傷

【上海廿七日發國通】閘北ポケット地帶の殘敵掃蕩中の陸戰隊士師部隊小林又次郞特務中尉は敵の手榴彈に重傷を負ひその他五、六十名の輕傷者を出した

英居留民一部に 避難準備を命令

【上海廿七日發國通】支那敗兵の侵入を恐れ廿七日午後四時イギリス當局はエジンバラ路以西地區居住の全イギリス居住民に對し、當局の命あり次第避難し得べき準備をなすべしとの命令を發した

人事往來

着京

▲寺山雄二氏（會社員）二十七日來京ヤマトホテル ▲伊藤達三氏（三菱社員）同 ▲矢中快輔氏（滿洲棉花）同 ▲辛島寬太氏（滿洲紡績）同 ▲鮫島千代策氏（機械商）同 ▲渡邊厚氏（會社員）同 ▲森福三郎氏（日本棉花）同國都ホテル ▲松尾勝氏（貿易商）同 ▲肥田耕二氏（大倉組）同 ▲戶倉誠司氏（滿洲豆稈パルプ）同 ▲藤原秀則氏（同）同 ▲吉岡憲氏（滿鐵社員）同 ▲川本良吉氏（住友製鋼所）同 ▲本田康喜氏（滿洲土建協會）同 ▲宮崎小三郎氏（本溪湖實業協會）同蓬萊ホテル ▲小原良介氏（同）同 ▲荒木馨氏（滿鐵社員）同 ▲小野芳雄氏（同）同滿蒙ホテル ▲松本源太郎氏（特產商）同 ▲內田徹氏（帝國海上保險）同 ▲大久保宅次氏（商業）同國際ホテル ▲澄川藤吉氏（同）同 ▲鈴木勝平氏（會社員）同中央ホテル ▲金谷正治氏（東拓社員）同 ▲佐藤福次郞氏（土木業）同 ▲福井猪和太氏（福井高梨組）同 ▲大西淸氏（建築業）同 ▲小林長兵衞氏（日本工業）同新京ホテル ▲釘宮松三郎氏（商業）同向陽ホテル ▲窪田圓平氏（牡丹江商工會議所）同都ホテル ▲齋藤庄三氏（會社員）同 ▲古味俊雄氏（淺野セメント）同

出發

▲池田五郎氏 廿七日敦化へ ▲板倉市二郎氏 撫順へ ▲難波勝治氏 大連へ ▲澁谷禮治氏 牡丹江へ ▲八木象次郎氏 哈市へ ▲松本貫一氏 海城へ ▲北林惣吉氏 哈市へ ▲久保小市氏 錦州へ ▲增本芳太郎氏 哈市へ ▲荒木利恭氏 奉天へ ▲黑田啓氏 同 ▲奧平廣敏氏 哈市へ ▲太田耕造氏 京城へ ▲天本龍之助氏 大連へ ▲井手治一氏 同 ▲鈴木健次郎氏 哈市へ ▲柴田秀雄氏 奉大へ ▲山根正吉氏 大連へ ▲青山勝藏氏 吉林へ ▲寺坂亮一氏 奉天へ ▲鵜林太郎氏 チチハルへ

その日く

□凱歌上海にあがるとき、九ヶ國會議不參加を回答して聲明も甚だ率直

□氣負ふ將士は敗敵を急追、堂々の論理は列國の迷蒙を擊つた

□上海との連絡斷たれては、南京城の懷ろが先づ寒くならざるを得まい

□江南の山村水廓つぎつぎに日章旗ひるがへつて、秋空高く澄み渡るといふ

□「淞滬の風物皆蘇らんと欲す」ーさう賦した武人の詩句が想起される

歴史の大轉換 蒙古に新時代來る

蒙古大會に於て德王大演說

【綏遠廿七日發國通】蒙古を東から西に横斷する陰山々脈は過去幾百年間蒙漢兩族の抗爭と

歴史

の移り變りを靜かに見守つて來たのだが、今また蒙古史上に一大變革の日が到來した、シリンゴールの若き王者德王や李守信將軍を始め烏蘭札布、伊克昭兩盟の各旗王侯ならびに三百萬民衆が驟然として奮起し、防共と民族協和の旗幟を掲げ支那軍閥の壓制下より日蒙聯合軍のため救ひ出された長城以北の漢民族と相提携し、樂土蒙古建設の秋を待ちつゝあつたが、その機熟し廿七日午前十時より陰山の麓綏遠公會堂において蒙古大會を開催した、この日晩秋の空は紺碧に晴れ渡り兩民族の歴史的よき日を祝福するかのやうである、歸化、綏遠兩城は蒙古一色に塗りつぶされ、成吉思汗の肖像と蒙古旗が軒並みに掲げられ、各盟より馳せ參じた蒙古王用の自動車が萌黄海老茶紫紺など蒙古公式の

正裝

に身をかため王侯族を乘せて續々と會場につめかける會場には今をさかりと咲き誇る菊の花と日蒙國旗で見事に飾られ中央の聖壇には成吉思汗の肖像が掲げられ言ひ知れぬ感慨を覺える、德王、李守信將軍を始め各旗王侯、札薩克氏が席につけば會場の空氣は一段と昂奮を加へる、定刻十時戸克陶秘書長のさびのある蒙古語で開會を宣し、成吉思汗の靈に默禱を捧げて大會の開催を報告した、續いて蒙古軍政府總統德王が起ち言々火を吐く熟辯をもつて蒙古政權樹立と防共の必要につき別項の如き至詞をなせば、滿場割れるばかりの拍手に各代表贊意を表し、ついで漢人代表賀秉溫氏が演壇に起ち綏遠治安維持會の新政權合體を提議すれば蒙古民族は喜んでこれを採決し合體の決議をなし、こゝに蒙漢兩民族の新政權樹立の

要望

は期せずして一致し、午後一時五十分意義深き蒙古大會の第一日を終つた

德王の致詞

【綏遠廿七日發國通】蒙古政府軍總裁德王致詞＝

□顧るに烏珠穆沁大會擧行以來本政府は新政權設立の重任を負ひ努力して今日に至る、一瞬すでに年餘、過ぎし苦難の歳月中絶大の犧牲を拂ひたる蒙漢民の合作要求の炎上並びに全省民衆一心の堅決奮鬪により遂に長城以北の蒙古故土を逐次收復して新政權樹立に關する一切の準備略々その緒につけり、こゝに蒙古大會を召集し全官民の意思を綜合して新政權樹立の方策を共同決議して民衆福利の增進と東洋平和の維持を民とゝもに考思す、本日の大會に出席するところの地方長官、軍事將領、蒙漢民衆代表の諸會員一致會驟に列し氣象躍動するは本總裁の欣快に堪へざるところにして、殊に友邦來賓の幸臨と御指導を賜り御芳情の至意に對して大會を代表して深く謝意をいたす、冀くば會員各位新政權樹立の大事に際し諸民族協和、共產防止の精神に基き相倶に愼重討議して適切至當の決議を行ひ、もつてわが蒙古のため明朗なる一新紀元を開き、わが民衆のため福利を享受する基礎を定めんことを本總裁は厚く冀望して已まざるところなり□

なほ廿八日は蒙漢兩代表者より委員を選び新政權の名稱ならびに政府組織法および政府最高人事の決定をなす重要會議を行ふことゝなつた

漢民族代表 合體決議を寄す

【綏遠廿七日發國通】漢民族代表が廿七日大會の席上で新政權に申出でた合體決議左の如し

今次蒙古大會が綏遠に擧行されるに當り綏遠治安維持會および所屬各縣は等しく代表を參加せしめたり、これはわが長城以北の全體漢民が一致團結して新政權の成立を熱望せる結果にして本大會のため欣快に堪へざるところなり、今後長城以北の全體漢民は一段と民族協和の誠をもつて合作し、一德一心、赤化を嚴防し東亞平和の維持を期するものである

新しき蒙古史を飾る 德王の手記

【綏遠廿七日發國通】眠れる獅子、その昔光輝ある歴史を忘れたかの如く砂塵吹きすさぶ草原に放牧流浪の幾星霜を過した蒙古民族は、救國の熱意に然ゆるが如きよき統率者を得て蹶然奮起、遂に民衆待望の偉業を完成するを得た、今や內蒙民衆の崇拜の的である彼德王こそは新しく書き直されやうとする蒙古史の冒頭第一頁を飾るべき人物でなければならぬ、記者はこの偉大なる先覺者が蒙古民族にとつては歴史的喜びの時に際し何を想ひ何を考へてゐるかを聽かんとその手記を乞うたところ多端の折にも拘らず氏に面接してそれを得ることが出來た、德王手記の全文左の如し

△德王手記

大宗成吉思汗薨じてより七百餘年、われ等百萬の後裔は祖先苦鬪の歴史を織込んだ際涯の地區に暴戾飽くなき南京政權の羈絆を脫した二百五十萬漢族良民と相提携、樂業の新天地を建設することゝなつたわれ等の喜びこれより過ぎるものはない、今や共產赤化の魔手は滔々として世界を蔽ひ一意東亞征服の爪を磨ぎつゝあり一日たりとも亞細亞民族の偸安を許さない實情にある多年白色人種の桎梏に呻吟し來つた亞細亞同族は今にして立たざれば何時の日にか再び天日を仰ぐ秋あらんや、今ぞわれ等は東亞唯一安定勢力たる日本帝國を盟主と仰ぎ、萬難を排し父祖天賦の地たる大亞細亞の建設に邁進せねばならぬ、友邦滿洲國は建國五ケ年にして早くも上下一致、五族協和の實あがり、王道樂土を謳歌してゐる、實に滿洲帝國の創生こそはわれ等蒙古民衆に更生復活の光明を與へてくれたのであつた、日滿蒙不可分關係の重大なることは亞細亞民族の亞細亞建設の礎石である、恐るべき赤魔の浸潤に對する防禦武器でなければならぬ、外蒙古及び支那は不幸にして赤化の魔手に操られ、われ〱と相反するの途を歩いてゐるかに見える、しかし賢明なる彼等の同族は必ずや迷夢より醒め、相擁して共に亞細亞建設を語る日も近きにありと信じて疑はない、とまれ大蒙古の再興を祖先墳墓の地において實現し得たるをもつて祖先の英靈に應ふる事を得、限りなき喜びを感ずるばかりでなくこの秋に當り親愛なる盟邦日滿兩國に對し深厚の尊敬と感謝を捧げる

魚類黨喜べ！ 生魚の使用解除

コレラの發生も一休みで 一ケ月振りに朗報

コレラ防疫に備へて去る九日料理店、カフエー、飲食店等各組合業者は生魚介の使用見合せを申合せ以來嚴重實施中であつたが、新京署衛生係では最近のコレラ發生及蔓延狀況並に業者、一般民衆の不便等四圍の狀勢に鑑みて關東局とも打合せの上廿八日よりこれが使用禁止を解除することに決定同日午前中各業者代表を召喚して申渡した、これで約一ケ月餘生魚介飢饉も解放されて今夕から各家庭の食膳に生々したマグロの刺身も乘せられ魚類黨の胃の腑にも滿足を與へやうと言ふものであるが、これについて同署衛生係では左の如く語つた

『生魚が食へるやうになつたからと言つて安心して暴食していゝ譯ではない、また充分警戒を必要とするものでコレラ等も各自の油斷によつてはいつ侵入せんとも限らぬ、生魚介使用禁止の申合せ事項解除も業者、市民の不自由等から考慮したもので各自不注意から今日までの防疫の効果を一簣に缺ぐことのないやう今後倚一層注意を希望する』

◇大根の秋…… 新京郊外にて

民生部波多技佐 通化へ赴任

東邊道一帶はその治安確立と共に重工業の中心地帶として諸般の計畫が進められてゐるが民生部防疫股では將來の發展性に鑑み最も密接な關係を有する衛生設備の完璧を期し同防疫股波多技佐を通化省公署衛生科勤務に命じ二、三日中に現地に赴任せしめることゝなつた、元來東邊道一帶は滿洲チフス、天然痘、赤痢、カンシベックの本場で近くこれらの調査研究所を設け防疫の萬全に力を注ぐことゝなつ

列車內に 二兒を捨てる

廿七日午後十一時着第六〇二列車で哈爾濱より來京驛ホームを徘徊せる擧動不審の滿洲人二少年を驛乘務員が發見驛派出所に連行取調べの結果、右少年は哈爾濱五城子以下不詳兒金小虎（一二）弟金秋雲（一〇）で兩名には母親がなく父親と哈市より奉天に行くと稱して該列車で南下したが途中王崗驛で父親は下車行方不明となり兄弟は止むなく來京途方にくれてゐたところと判明した、然し兄弟は父親から計畫的に捨てられたものらしく行先も自分の居所も判然としない程無智でさらに知人もないのでこれが處置に關し目下新京署人事係で考慮中である

マンドリン 交響樂誕生

頽廢せるジャズ音樂を排し私生活の肅正情操の陶冶と趣味の向上を目的とする新京マンドリン交響樂が滿鐵總裁室新京駐在加藤哲之助氏、京商泉教諭らの肝煎りで誕生した、練習場を白菊町白菊俱樂部內に置き毎週水曜日午後六時から練習をなすことになつた、現在の會員は約十五名であるが滿鐵社員はもとより一般多數の入會を歡迎すると會費は滿鐵社員一圓社外一圓五十錢である

松岡滿鐵總裁 軍司令官と重要會談

滿鐵總裁松岡洋右氏は二十八日午前八時の列車で大村副總裁八辻秘書役らを帶同して來京理事公館にて少憩のゝち午前九時半植田關東軍司令官を訪問數時間に亙つて重要會談ののち午後一時新京飛行場發臨時旅客機で大村副總裁中西理事らと共に奉天に向つた

拳銃を一發くれて 大金を强奪逃走

二人組强盜今曉城內を襲ふ

二十八日午前三時頃城內東三馬路門牌九十八高粱商永和洪の裏口より二人組支那人の拳銃强盜侵入し抵抗する家人五名を繩でしばり上げ主人の河北省生れ張品山に拳銃を擬して「金を出せ」といつたが肯んじないので顏面に一發喰はせ奥の金庫を破つて國幣二百九十五圓、金票、太洋銀百二十四圓合計四百十九圓を强奪そのまゝ逃走した、被害者の張品山は直ちにこの旨長通路署に通報し市立醫院に運ばれたが生命に別條はない模樣である、急報に接した長通路署では直ちに本廳と連絡をとり村上搜查股長以下長通路署司法係總動員のもとに活動を開始したが未だ犯人逮捕に至らない

熱誠をくんで 從軍志願者一部許可

【東京國通】支那事變勃發以來從軍志願書が相次いで提出され、陸軍省だけでも廿六日までに六百五十四名に達し、其內血書が百廿名、兵役關係のないものが三百廿名、婦人十名、朝鮮同胞十六名に上つてゐるが、更に各地の師團司令部その他に提出されたものを合せれば相當多數に達するものと見られてゐる、陸軍省ではこれ等從軍志願者の赤誠をくんで在鄉軍人にして從來の計畫に支障なきものに限り補充要員などに充用することゝなり、廿七日陸軍次官から全國の師團司令部および朝鮮臺灣の各軍司令部に宛て通牒を發した

壺蘆島港に 新裝備完成

勃海の海運に一新機軸を劃す

遼西熱河の門戸として同方面物資の呑吐港たる壺蘆島港は本年五月開港以來、阜新炭鑛の開發、油化工業所要機械の輸入を初め漸次活況を呈してゐるが交通部航路科では同港設備を整へるため豫てより準備中のラヂオコンパス（無線方向探知機）燈臺の施設がこのほど完成、更に監視船「海鷗」も十一月七日大連で進水し同港に配置されることゝなり勃海を繋ぐ大連、壺蘆島港間の海運に一新機軸を劃することゝなつた、即ち滿洲で最初の試みであるラヂオコンパスは豫算六百圓を以て營口、壺蘆島に新設、壺蘆島燈臺は同島高角灯籠山（北緯四〇度四三秒、東經一二一度一分一六秒）に工事中であつたが愈よ十一月廿日點燈式を擧行する運びとなつた、同燈臺は閃白光十五萬燭光を以て廿五浬の海上沖を照し遙か營口沖よりも照光を望むことが出來るもので壺蘆港前面の菊花島暗礁の危險區域を紅光を以て示すことになつてゐる、なほ監視船「海鷗」は航政局の誇る優秀船で十一月中旬壺蘆島港に回航されることゝなつてゐるが回港出入船舶も今回の施設に依つて濃霧、暗礁の障碍を突破して自由に航行出來るわけである

新人卓球戰 申込み八十名

卓球新人の登龍門として期待されて居る新京卓球協會主催の新人卓球大會は十月三十一日午前九時より大經路小學校に於て開催されるが近來頓に隆盛となつた滿洲卓球界は拔倆の向上と相俟つて世界の檜舞台に登場するのも近き將來のことでこの際多數新人の拔擢養成に協會では懸命となつて居り本大會も二十七日の締切りまでに八十餘名の申し込みがあり盛會が豫想されてゐる

白衣の勇士着京

北滿各地の討匪行に奮戰名譽の戰傷を受けた白衣の勇士二十一名は二十八日午前七時着列車で着京、直ちに新京陸軍病院に入つたが一同は二、三日休養の上內地へ凱旋の筈である

亡父忌明に 獻金寄託

二十八日朝本社を訪れた新京總領事館構內官舍六號の長谷川濤さんは金一封を差出し、これは些少ですが亡父の忌明に當りますので香典がへしなどを時局柄節約しました剩りです、獻金の手續きをおたのみしますと寄託があつた

八島保護者會

八島小學校では二十六、七、八日の三日間に亙つて兒童の成績品展覽會をかねて保護者會を行ひ各日とも多數の父兄の來校があつて授業參觀校長講話の後受持教師と家庭教育について懇談をなし好成績のうちに終了した

赤木洋行國防會館建設費寄附

三笠町赤木洋行主は國防會館建設費の一部として在鄉軍人會新京聯合分會に對して金一百圓を寄附しに

三中井招待映畫

三中井の開館一周年記念大賣出しは連日滿員の盛況であるが特に賣出し中催しの一つとして足袋と毛メリヤス買上の方へ贈られた映畫招待は明廿九日午後六時より豐樂劇場で開催する事になつたが上映々畫は今評判の「禍福」と「戰ひの曲」とニュースの番組である

新京競賣所廉賣

祝町三丁目新京競賣所では廿九日より三十一日まで三日間祝町太子堂に於て吳服問屋の整理品と質流品の大投賣を斷行するが、男女衣類や洋服オーバ防寒具等新品半分に質流物半分、山と積まれた特價品は必ずや購買慾を充すであらう

あす（廿九日）

▲日系警士採用試驗、午前九時、中央警察學校
▲三上和志氏講演、午後七時白菊會館

◇今晩の主なる放送番組◇

▲八・三〇淺太夫「刈補忠臣藏」（東京）竹本源太夫外
▲九・〇五軍歌物語 大阪 金平軍之助外

滿洲國の對支貿易
九月前年比半減
八月に比すれば相當の回復示す

九月中における滿洲國の對支貿易の變動を大連、安東、營口、山海關の四稅關の報告についてみるに輸出入總額三百十五萬四千圓、輸出百十二萬四千圓、輸入二百三萬圓で、これを前年同期と對比すれば輸出において六十三萬四千圓輸入において二百二十八萬圓（六三％）を減じ、總額において約半減して二百九十二萬圓減となり事變の影響を如實に物語つてゐる、これを前月に比すれば輸出において七十八萬五千圓、輸入において約百萬圓の減退で、依然として落調傾向を示してゐるが、たゞ輸出においては大連の十四萬二千圓、輸入において山海關の卅一萬圓をそれ〴〵增加したのは對北支貿易の回復を示すものとして注目される

△輸出（單位千圓）

	九月	前年同期	八月
大連	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安東	[illegible]	[illegible]	[illegible]
營口	[illegible]	[illegible]	[illegible]
山海關	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

△輸入

	九月	前年同期	八月
大連	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安東	[illegible]	[illegible]	[illegible]
營口	[illegible]	[illegible]	[illegible]
山海關	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

つぎに品目別にみれば主要輸出品は高粱十五萬圓、豆粕八萬圓、石炭六萬圓、小麥粉五十二萬圓で、全輸出額の七二%を占め、これを前月に對比すれば高粱、玉蜀黍、粟、小麥粉の四品目を除く他は全面的に減退し、特に大豆の卅萬圓、石炭の十萬圓が目立ち、總額において七十八萬圓の減少を示した、これを前年同期に比較するに高粱の十四萬圓粟一萬五千圓、セメント五千圓の各增加を除き何れも他は輸出減少で總額において六十三萬圓の減少を示してゐる、輸出部面において最も特徴的な現象は小麥粉輸出（九十二萬圓）の急增で、八月の十萬圓に比し五倍以上の輸出增加であるが、これは北滿小麥粉の對北支輸出によるもので、一方輸入における上海粉の激減（八十二萬圓減）と對比し事變の影響を最もよく反映してゐる、從來滿洲は支那から小麥粉を輸入してゐたが、支那の物資缺乏によつて逆に支那にこれを輸出するに至つたものである、輸入については茶料（廿八萬圓）、藥材及び好味料（十一萬圓）、葉煙草（五十八萬圓）、皮革（九萬圓）包裝用席（十萬圓）の五品目で輸入總額の半額以上を占めこれを前月に比較すれば藥材及び好味料の二萬五千圓、葉煙草の二萬二千圓、皮革の四萬圓、包裝用席の三萬圓、陶磁器の四萬圓の各增加を除いては軒並みの減退で、總額において約百萬圓の減少（三十%）を示した、これを前年同期に比すれば葉煙草の廿九萬圓と棉花中入綿、皮革の微增を見た以外には各品目ともに減少、總額においては半減して約二百廿八萬圓の減少を來し、小麥粉八十二萬圓、茶十萬圓、果實類十四萬圓、包裝用席十一萬圓、紙類十萬圓の減少が目立つてゐる、なほ九月中の對支再輸出（大連ならびに山海關）は總額三百八十三萬六千圓で、その主要品目は左の如し（單位千圓）

品目	金額
生地綿織物	七一三
漂白又は染色綿織物	四九八
鐵及び鋼	一三七
自動車輛及び部分品	二五四
米	三一九
小麥粉	四四〇
砂糖	二六二
油脂類	三一三
ゴム靴	一二一

小林一三氏提唱の
北支興業組合案
特殊公債と民間の協力で

小林一三氏が北支今後の經營のために提唱してゐる「北支興業組合」案を紹介すれば次の如きものである

×

戰時中は軍を背景とした銀行の發行紙幣によつて冀察方面の經濟市場を統制し戰後はこの銀行を中心にして「北支興業組合」（假稱）を設立し、國家社會主義と共產主義の有する各長所を加味した新資本主義統制經營による繁榮を來させたい、理想として「北支興業組合」には日本の財閥や資本家や現在の如き資本主義機構の許にその害毒に浸潤してゐる人々を排除し、この戰爭に直接參加した國民大衆にその效果を分與せしめたい、これが「北支興業組合」設立の大方針である、「北支興業組合」は北支政權と握手し、あらゆる經濟的方面の事業についてはこれに關與し一手販賣的權利を優先的に持つことがその生命である、新會社の設立は勿論あらゆる事業に投資し得るのみならず、これを管理し、監督し、北支の事業はこの組合の力を藉りるにあらざれば成立せざるものとして殆んど絕對の權利を持つことが必要である、然らばこの組合は如何にして設立せしむべきか、これには所謂資本家なるものの資金を毛頭借りやうとは思はない、この未曾有の大戰に於いて發行せざるべからざる戰時公債、五十億か百億が、その發行に就いては深甚の注意を要すべき公債消化策の一案として一石二鳥の計畫によつて組合の資金を募集したい、戰時公債消化に對する發行紙幣の增加はやゝともすれば惡性インフレの恐れあることといふ迄もない、出來るだけ少い紙幣發行によつて出來るだけ多額の公債を募集し得るや否やは財政當局者の頭を惱ましつゝある問題として既に周知の事實である、こゝに於いて紙幣の增發に觸れずして公債のみを發行し得る方法を選擇することは戰時財政に對する對策の一として歡迎すべきものであらう、即ち出征軍人並びに戰時關係者に對し交付すべき金額は、本人の希望あらば紙幣を渡さずして公債を渡すことゝ假定するそしてその公債には「北支興業組合出資金として優先權あり」といふ意味をスタンプして渡すこととする、公債ならば三分五厘乃至四分の利子に過ぎないがこの公債を組合の出資金とする場合には七朱であるか、八朱であるか、有利に變換し得るのであるから希望者は多いであらう、出資者に對しては記名證券を發行する、事業管理については例へば紡績事業を開設したいといふ希望者があるとすれば、その事業が百萬圓の投資を目的とするならば組合は必ずその半額五十萬圓を出資する、而して常任監査役と同一意味の監督者一人を參加せしむるだけで全部の仕事は當局者に一任する、かくして北支經濟界の前途は內地の力を借らず、財閥の恩惠にすがらず戰爭關係有志一團の自力によつて共存共榮の新資本主義、理想的樂土が築き上げられるであらうといふものである

最近の世界產金額
著しく增加す
大部分は貨幣に鑄造さる

最近の世界產金額は增加の一途にあるが、決濟銀行が昨年度の產金額調査を最近發表した、それによると昭和十一年度の世界產金額は三千五百三十萬オンスで前年に比較すると四百卅萬オンスの增加である、一ヶ年の產額がかくの如く多額に上つたのは、たゞに未曾有のことであるばかりでなく增加率が十三パーセントとなつたことは十九世紀中葉におけるカリフオルアニ及濠洲金鑛大發見當時並にトランスヴアール金鑛發見直後たる十九世紀末を除いては最初のことである、其結果新產金額の五パーセントは工業用金に消費されたが、殘りの九十五パーセント即ち五十億スイス法、ポンドに換算して三億五百萬ポンドといふ莫大な金が貨幣用に供されたのである

× ×

しかしこれら新產金は如何なる國から增產されたかといふと三分の一は南阿、五分の一は露國、九分の一は北米、十分の一はカナダ、殘余はその他の諸國といふ順序である、一九二九年までは世界產金中七十二パーセントまでは英領に占められて居たが一九三六年にはその割合は五十三パーセントに減少し、その他の諸國が增加した、かくて一九三六年には貨幣用金として新產金三十七億七千七百萬スイス法に東洋よりの退藏金の流入四億三千七百萬スイス法を加へて四十二億一千二百萬スイス法から工藝用金一億九千萬スイス法を差引き、これに東洋以外の退藏金の放出約十億スイス法を加ふれば五十億スイス法に上る譯である

× ×

更にこの貨幣用金の行方を調べて見ると、五十億スイス法のうち約三十三億スイス法は主として各國の發行銀行及び政府の手に入りしかもそれは主として英米兩國で、殘りの十七億スイス法見當は爲替資金その他金融當局の未發表保有金に繰入れられた、而して產金增加の原因は市價昂騰による採算有利となつたことゝ及び輸入超過國の獎勵等によるものである

米國景氣に
反動期到來す

九月の始め頃から漸次顯著な傾向となりつゝあつた米國景氣の反動は、單に株式市場の一時的綾といふより一層深い根底を有し、從つて當分急反撥は到底望むべくもないやうである、工業株三十種は八月末以來漸く下げ止まりの形ではあるが、八月中の最高から見るゝ甚しく下値で昨年六月中旬以來の最低記錄である、スチールに至つては九月四日の引値が七十八弗四分の一で引値としては新安値、八月中の最高引値に比するとこれまた四十二弗七五といふ大暴落である、尤もスチールは本年春以來の上げ方が餘りにも强かつたので七十八弗台の相場は本年一月初旬と同水準であるが他方アナコンダもモンゴメリーも昨年八月以來の新安値、鐵道株二十種平均は一昨年十一月末以來、ゼネラルモーターの如きは一昨年十月中旬以來の何れも最低値であるかくて八月末まで一ヶ月餘りの間に紐育株式の位置は全く一變、ウオール街はまさに半恐慌的な不安人氣に蔽はれた、ブラツドストリート社の十月初め紐育卸賣物價指數は十弗八四三と前月に比して〇弗一〇九六の低落、今春の最高四月始に比すると〇弗九六七の低落を示した、昨年十二月始の一〇弗七八九五よりはまだ僅に高位にあるが兎も角昨年末以來の物價暴騰は大部分訂正されてしまつた

×

このやうな半恐慌が暴落を目のあたりに見て、明年夏頃より本年春にかけての稍々ブーム氣味の好調に對する反動が根本的に伏在することを疑ひなしといふ見解が漸く一般的となりつゝある、かうした人氣が又最近に於ける株價暴落の根本的素因をなしてゐるのである、明年夏以來軍人恩給の一時拂ひやルーズヴエルト大統領の再選による人氣の明朗化等によつて消費財景氣が爆發してゐたところへ、國際的な軍事インフレによる物價暴騰見越し及び勞働問題先行不安のため生產が極度に急がれたために生じた在荷の壓迫は輕視し難いものがあるのである、現在の人氣を以てすると十月、十一月も不振を續けるものと見られる

朝鮮の對支貿易
九月より漸增
北支向輸出の增加による

【京城國通】朝鮮の本年度對支貿易は支那事變の影響を受け注目されてゐたが、七、八兩月は輸出とも各五分の一に激減したところ九月に入り北支明朗化に伴ひ北支向輸出增加のため漸增傾向をたどり、前年同期の十八萬圓に對し廿六萬圓に達し今後北支治安の確立とゝもにその前途は大いに期待すべきものがある、輸入は九月中において卅七萬六千圓で前年同期の約三分の一に減じ未だ回復の兆なきもその輸入先が大部分山東、河北兩省の關係上近く回復するものとみられる

牡丹江流域の
產業資源豐富
注目される大樹海と金鑛

今次三江地區特別工作に際し僻地における產業資源の開發は特に重點を置かれてゐたが圖らずも今回松井部隊の秋季大討伐と相俟つて牡丹江流域における產業狀況の調査が發表された

一、林業は牡丹江の支流四道河子某點西方八キロの邊りから同支流の上流一帶にわたり大森林地帶をなし、その大なるものは樹高卅米、直徑六尺にも及び、普通二尺程度の松林で宛然大樹海を形成し、その評價二、三億圓と稱されてゐる

二、工業は右四道河子の急流を利用すれば完全なるダム工事が可能で五萬キロワツト程度の發電量は至難ではない

三、鑛業は金と石炭であるが前者は五道河子對岸馬丁溝に金鑛區があり金質は七十%程度である、埋藏量においては滿洲屈指と言はれ工夫三千名が優に卅年位の發掘に堪へると言はれてゐる後者は三道通上流五キロの地點に炭層を有し現に發掘中であるが、卅米四方に及ぶ露出炭層もあり相當豐富なるものと見られてゐる

四、水田は四道河子流域に約九十町歩、五道河子流域に約二千町歩の水田可耕地があり更に兩流域には約二千町歩程度の既耕畑地もあるその他四道河子には豐富なる魚族棲息し、更に同地方山間には狐、狸、鹿等無數に棲息してゐるので毛皮の產出は相當有望視され、現に土民達はワナをもつてこれが捕獲を行つてゐる、既に本年度においては森林苦力二〇〇〇名の入植があり、かつこれが開發中心地として二道通辦事處設置と共にこの地に都邑の建設中である

商況欄（二六日前場）

海外經濟電報

倫敦金塊	七磅〇志八片〇〇
紐育金塊	三五弗〇〇〇
倫敦銀塊	一九片一六分三
同先限	一九片八分七
紐育銀塊	四四仙四分三
孟買銀塊	五〇留比一六分三

▲外國爲替

英米爲替	四弗九五仙一六分五
米日爲替	二八弗八九仙
米支爲替	二九弗五五仙
英支爲替	一志二片八分三
英日爲替	一志二片〇〇
印日爲替	七七留比二分一
スチール株	五八弗八分三
アナコンダ株	二八弗八分七

▲市俄古小麥

十二月限	九五仙八分七
五月限	九五仙四分三
七月限	九〇仙四分三

▲紐育棉花

現物	八仙三二
十二月限	八仙一三
一月限	八仙〇七
三月限	八仙〇八
五月限	八仙〇七
七月限	八仙〇七
十月限	八仙一八

▲印棉

ブローチ	一六〇留 [illegible]
オームラ	一四〇留 [illegible]
ベンゴール	一三七留比〇〇

▲カルカツタ麻袋

青筋	二四留比一六分三
鐵筋	二二留比一六分三

▲滿洲中銀爲替

上海向	九六弗五〇仙
天津向	九六弗五〇仙
紐育向	二八弗八分七
倫敦向	一志二片〇〇

▲阪神爲替

	賣	買
對米	二八弗四分三	二八弗八分七
對英	一志二片〇〇	一志二片ノミナル

各地株式市況

▲東京株式（短期）

	寄付	大引
新東	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]

▲大阪株式（短期）

	寄付	大引
大新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
日魯	[illegible]	[illegible]

▲大連株式（短期）

	寄付	大引
五品	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
日產	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
土木	[illegible]	[illegible]
日新	[illegible]	[illegible]

各地商品市況

▲大阪綿糸

	寄付	納	大引	會
十月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲大阪棉花

	寄付	納會
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]

▲大阪人絹

	納	會
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

▲大阪期米

當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

▲橫濱生糸

現物	―	―
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

各地特產市況

▲新京

	寄引	出來高
現物 大豆	―	―
高粱	―	―
高粱米	―	―
小豆	[illegible]	一車
玉蜀黍	―	―
包米	―	―

●大豆　先物

十月限	[illegible]	[illegible]	四〇車
十一月限	[illegible]	[illegible]	一三七車

●高粱

▲大連

●大豆

	寄付	大引
現物	[illegible]	[illegible]
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]

袋入 十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]

●豆粕

現物	三、一〇	―
十一月限	―	―
十二月限	―	―
一月限	―	―
二月限	―	―

●豆油

現物	[illegible]	―
十一月限	[illegible]	―
十二月限	[illegible]	―
一月限	[illegible]	―
二月限	[illegible]	―
三月現	[illegible]	―

金曜　十月廿九日　舊九月廿六日　己丑　佛滅　平　婁宿

●一白の人　他人の爲めに迷惑を蒙る事あり世話事は凶　甲と丙と庚が吉

●二黑の人　一家は平安にして業務は自然に繁昌する日　甲と亥と寅が吉

●三碧の人　喜び變じて悲しみの起らんとする注意の日　丙と丁と庚が吉

●四綠の人　腹を締め直して苦難を凌げば後に吉となる　丁と庚と辛が吉

●五黃の人　一寸の隙もなく緊張すれば實利を收むべし　甲と亥と寅が吉

●六白の人　順序立てゝ進めば重責をも果すべき大吉日　甲と辛と癸が吉

●七赤の人　小利も度重なれば大となる些事も輕がすな　甲と庚と亥が吉

●九紫の人　一段一段と高きに近づく日縁談は取れあり　壬と癸と寅が吉

青春の宿（一三）

須藤鐘一作　柴谷宰二郎畫　（上演上映）

覗ひ寄る（四）

『まあ幸子さん――』

さ、耀子は男の方をみてから、近づいた幸子に

『兄さんと一緒なのね』

何だか近代の女らしくないことは、兄妹が一緒になつて歩いてゐるからだつた。

それを近代娘の彼女は素見したかつた。

『さう……わたしは、あなたと違つて品行方正ですからね、いつも兄さん一緒よ、ほゝゝ』

幸子は、讓治の方を盜み見て笑つたが、そこへ近づいた兄なる男は、にえきらない笑ひをたゝへ、舌たらずの口調で

『今晩は――』

『今晩は――』

耀子は、茶化するやうに、相手の口調をまねて

『いつも、ご兄妹お仲のよいことね』

『父が、女ひとりの歩きは危險だつて、うるさいんでね、いつも幸子の外出には護衛を仰せつかるんです』

『ほゝ、わたしの方が、兄さんの護衛ぢやないの――』

幸子は、兄に對する輕蔑を含めて、さういつたが、少しはなれた所にたつてゐる讓治を眼で示して

『さなた？あの方……』

兄なる男が、やゝ、氣色ばんで

『だれです。あれは――紹介して下さい――』

『……………』

耀子は、讓治の方に微笑した顏をむけて

『讓さん。ちよつといらつしやいな。紹介しますわ。この方、わたしのお友だちで、實業家の岡見さんのお孃さん、幸子さん――こちらは、兄さんの金之助さん』

いやいやさうに近づいてきた讓治は、そこまできいて、はつさ眼をみはつた。

耀子が、ふたりの方をむいて

『この方は……』

さ、讓治を紹介しようさする言葉をはげしく奪つて

『僕は、峰田讓治さいひます、よろしく――』

耀子は、讓治の權幕に、呆氣にさられた風だつたが

『あなた方も、ホールへいらつしやるのでせう――では……ゆきませう』

岡見兄妹の方へ、さういつて、耀子は、讓治によりそつて、一足先に階段をのぼつた。

センシユアルな音樂が、彼らを迎へる。

『踊りませう――』

曲目の變りめをまちかまへてゐたやうにして、耀子が讓治の腕をさりホールへひつぱつた。

『讓さん――』

さ、耀子は、踊りの渦にまきこまれながら小聲に――しかし、ちつさ、眞正面から讓治の眼をのぞくやうにして、いつた。

『あんた、なぜ、さつき、峰田讓治つていつたの……本名を知られては、惡いの？―』

『さうなんです』

さ、讓治は、苦しさうな息使ひでいつた。

『わけはいづれお話しますが……實業家の岡見さいふのは岡見金四郎さいふ人なのでせう』

『さう』

『その一家の者には、本名を知られたくないのです――お孃さんお願ひですから、あの人たちにだけ峰田さいふ苗字にしておいて下さい。それから、この間までお孃さんをも欺いてゐたやうに滿洲で事業を計畫してゐるもの〻作ださいふことにしておいて下さい』

『…………』

耀子は、暗い顏をしたが、無言のまゝうなづいた。

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊

山西戰線急速に進展

北部、東部の皇軍戰果著しく

正太線の敵後衛陣地崩る

【天津廿八日發國通】娘子關新關を拔いてよりわが山西作戰は俄然急激に進展し北部戰線では二十七日夕刻わが先鋒部隊は南峪南方高地を占領、忻口鎭陣地最左翼四ケ師の敵に殲滅的打擊を與へて敵の本陣地を左側背より脅威し、一方東部戰線では娘子關を拔いてよりわが部隊は三方より轡を並べて疾風の如く二十八日朝巨城鎭（娘子關西方十キロ）移穰鎭（娘子關西南方）石門口を連ねる敵の後衛陣地を突破し、なほ猛進を續け陽泉に迫りつゝあり、かくて彼我攻防の中に對峙しつゝあつた山西戰線は北部、東部ともに二十七日來わが方の壓倒的優勢に轉じ山西の支那軍は早くも敗退の色濃くなつた

忻口鎭攻略戰有利に展開

敵、大唐村附近で辛くも抵抗

【天津廿八日發國通】廿日以來忻口鎭敵陣地の最左翼を攻擊中である後藤、豬鹿倉兩部隊は滹沱河畔の北方臺地に據れる敵を猛攻、廿七日夕刻これを奪取、忻口鎭攻略戰は急激に有利な展開を見せるに至つた

【天津廿八日發國通】後藤、豬鹿倉兩部隊の猛攻に潰えた最左翼の敵は滹沱河支流南岸の低地に據り大唐村、小白水附近の陣地に抵抗を續けてゐるが、敵前面の高地を占領せるわが部隊將士は眼下にこれを睥睨して士氣大いに振ふ

荒鷲軍、潰走部隊を猛爆擊

【○○根據地廿八日發國通】わが軍の娘子關占領とゝもに陸の荒鷲部隊○○機は二十七日正午○○根據地を出發、銀翼を連ねて娘子關附近の上空にその勇姿を現はし、山間の隘路を潰走する敵の密集部隊に對して猛爆擊を加へこれに多大の損害を與へた、娘子關に敗れた敵はわが軍の進擊を阻止すべく永峪莊、立庄の線に陣地を構築中であるが、その後方陽泉、壽陽間においては軍用列車十三ケ列車を配置して早くも逃げ仕度を準備してゐる

軍用犬の活躍（上海戰線）

兵士と共に彈丸雨飛の最前線にあつて偵察に、斥候に、彈藥輸送に、後方通絡に目覺しい活躍振りを示す軍用犬は兵士達のよき戰友として賞讚の的となつてゐる（寫眞は突進する軍用犬）

閘北の殘兵狩り

【上海廿八日發國通】○○部隊は閘北の小ポケットにある大豐舍廠に敵の殘兵が四、五十名潛んでゐるのを發見午後三時より掃蕩攻擊を開始した

粵漢線爆擊

【香港廿八日發國通】當地英字紙の報道によると、去る廿三日粵漢線英德驛に於てわが飛行隊に爆擊された列車は、軍需品滿載の貨物列車で損害約百萬元と見られてゐる、なほ線路は約五百呎破壞された

金門島猛擊 廈門との交通を遮斷

【香港廿八日發國通】廈門港外金門島には嚴重な軍事施設あり、わが方艦船に對し常に砲擊を加へつゝあつたが、廿六日早朝わが海軍は空、艦呼應これを猛擊二時間後完全に沈默させた、同時に陸戰隊の一部は同島に上陸殘敵を掃蕩軍事施設を破壞して廈門との交通を遮斷した

津浦線泰安で貨物列車を爆破

【○○廿八日發國通】津浦線方面の空襲に赴いた○○艦隊飛行隊は泰安附近で北向中の貨物列車を發見これに爆擊を加へ爆破したが、泰山々麓の機銃陣地より一齊射擊を受け內一機は兩翼に五十餘彈、エンヂンに三彈命中、搭乘の偵察員は前額部に負傷せしも全員よく墜落を免れ萬歲に迎へられ無事○○基地に歸還した

スクラム組んで 陸海軍閘北肅清工作

【上海廿八日發國通】閘北警備の陸戰隊最前線は蘇州河畔の中央造幣廠にある、四明公處に屯してゐた伊藤、太田部隊が廿七日午前十一時からこゝに移駐し、日章旗は中央造幣廠の屋上高く翩翻と飜つた、あたかも國民政府の金庫を足下にふみつけたやうだ、その前の中山路を距てた向ふ側には陸軍の○○部隊、その他の一部隊が本部を構へてをり、陸海相向つて共同警備の任についたが、廿八日正午頃陸軍の○○部隊長と陸戰隊の○○部隊長が○○で最初の會見を行ひ、劇的握手とゝもに今後の警備方針を打合せた、陸海兩軍スクラムを組んでの肅清工作だ、造幣廠には造りかけの補助貨幣が相當多數發見されたが、これを一纏めにして保管し金庫とゝもに「陸戰隊占領」と封印が貼られ、停戰の後支那側に渡すまで誰の手にも觸れさせないのだ、皇軍の正義の戰はかくして支那民衆のため、建設のため着々として進行する

陸戰隊の戰闘一段落 占據記念地保存

【上海廿八日發國通】閘北の陸戰隊の戰闘は一段落となつた、過去二ケ月半にわたる激戰の跡をしのぶ意義を貴び勇士の犧牲に感謝の念をさゝげるため左の諸地を陸戰隊占據記念地として激戰當時のまゝの狀態を當分保存することゝなつた

北部戰線　商學院、同官舍、開林公司、油公司、森の陣地法雲寺、愛國女塾等

閘北方面　整理未完成のため指定するに至つてはゐないが、商務印書館、鐵道管理局、北停車場、八字橋等が指定される模樣である

南翔總攻擊を開始

荒鷲亂舞、地上部隊猛進

【宋宅廿八日發國通】廿八日午前十一時○○猛攻部隊の南翔總攻擊は空、砲、步の猛烈な武力を完全に發揮しつゝ開始された、餘す所僅に三粁のわが部隊は秋色美しき江南の野を壓してゐる

【上海廿八日發國通】二十八日午前陸軍第一線前面の敵陣上空にわが陸海兩空軍は翼を揃へて亂舞、協力して潰走の敵に猛爆擊を敢行した

【上海廿八日發國通】二十八日午前十一時海軍機の偵察によれば、敵は南翔西南方に向け敗走を續けてゐる

【上海廿八日發國通】海軍航空隊今村、千田兩主力部隊○○機は廿八日午前七時相次いで○○基地を飛び出し銀翼を連ねて南翔、辛莊上空に亂舞した、また松尾、北島、高橋三中尉指揮の○○機は午前十時蘇州河に沿うて飛び、共に潰走する敵に猛射を浴せ多大の損害を與へるとゝもに蘇州河の橋梁を片端から粉碎してその退路を斷つた

【宋宅廿八日發國通】南翔を最後の據點として死物狂の抵抗を續けてゐる敵部隊を擊破鐵道南側に沿ひ前進また前進を續けて廿八日午前九時半早くも浪江橋の敵陣地を占據した、これと並行して南翔一番乘りを期する淺間部隊は南翔街道を驀進、廿八日午前九時過ぎ郭家宅を攻略しさらに前進中である

蘇州河南岸、松江、崑山に反復痛彈を浴す

【上海廿八日發國通】陸海兩航空部隊は蘇州河南岸に集結中の敵增援部隊に對し廿八日數十回にわたり連續反復爆擊を敢行敵に多大の損害を與へた

【上海廿八日發國通】海軍航空隊今村部隊小倉中尉の指揮する○機は廿八日午後六時夕陽に銀翼をそめて松江に飛び鐵道附近に集結しつゝある敵主力部隊に對し午前に引續き大爆擊を加へた

【○○廿八日發國通】○○基地におけるわが海軍渡洋航空部隊の○○機は廿八日も上海戰線に空からの協力をなすべく大杉、石兩大尉、時雨、渡邊中尉指揮のもとに勇躍基地を出發、午後一時頃敵大部隊の敗走路に當る重要陣地崑山および蘇州の上空を襲ひ、驛ならびに軍需品滿載の貨車群その他軍事施設に大爆擊を敢行し、多大の戰果を收めて全機無事歸還した

避難民の租界侵入を禁止

【上海廿八日發國通】大場、閘北の敵敗退の結果干戈を避けて二十七日來租界目がけて殺到し來る民衆は數萬を突破し、すでに共同租界內に避難したものは二十七日一日だけで二萬五千人に達し無策に放任する時は租界內は避難民の氾濫にまかせることになり茲いては治安にも重大影響を及ぼすため租界工部局では協議の結果租界混亂を防止し治安維持の見地より現在租界警備に當つてゐる列國軍隊と協力して二十八日正午よりこれら避難民のこの租界侵入を禁止するに決定した、この結果あてが外れた避難民の大群が租界外を迂回し一部は南市にその他の大部分は南方に向け移動中である

豐田紡績工場に支那敗殘兵侵入

【上海廿八日發國通】西部租界外のゼスフイールド路にある豐田紡績工場は事變發生以來英國軍隊および工部局の警備に任されてゐたが、廿六日以來の戰局の大轉回により支那軍が雪崩をうつて同方面に退却を開始するやイギリス軍隊および工部局警備員は同工場より撤退し廿七日正午過ぎ支那兵が工場內に侵入した、目下工場內の狀況全く不明

蔣の蘇州潛伏確實

顧問ド氏上海で暗躍

【上海廿八日發國通】蔣介石が蘇州にあつて支那軍の最高指揮に當つてゐるとの說が有力に傳へられてゐたが、俄然その英人顧問ドナルド氏の來滬によつて右の說が殆ど立證されるに至つた、すなはちドナルド氏は數日前再び來滬、英國有力者ならびに支那側政治財政要人等と頻繁に會見し九ケ國會議に對する準備工作ならびに頽勢挽回に狂奔しつゝあり、その間蘇州との間に使者を頻繁に往復せしめてゐる事實あり、また新聞面に現れる軍要發表訓令などは蘇州より發せられるなどの事情より見て蔣介石の蘇州潛伏說は確實とされてゐる

ゲ・ペ・ウの不法射擊を反擊 水流峰奪還す

【京城國通】朝鮮軍司令部發表＝二十八日午前九時頃滿洲國軍國境監視隊が水流峰守備地に前進中突如ゲ・ペ・ウ三四十名がこれに不法射擊し來つたので國境監視隊は直ちに慶興守備隊に急報、同守備隊は直ちに出動午前十一時五分水流峰を完全に奪還したものであるが、今回の不法射擊事件は何等ソ聯側からの積極的なものとは觀察出來ぬが、わが軍の攻擊によつて直ちに引上げたことによつて見るも近來のソ聯の動向を物語るものである

敵中に突入自爆 江南散華の兩勇士

【上海廿八日發國通】廿七日午後三時五十分香川美治航空兵曹長（島根縣邇摩郡福光村）竹內信七一等航空兵曹（愛知縣知多郡橫須賀町）は、北新涇西方にて後退中の敵密集部隊に壯烈なる爆擊を敢行中突如敵機銃彈のために愛機は火の塊りとなつで敵軍中に突入自爆、敵兵七、八十名を空中に吹きとばして兩勇士は愛機と共に秋深き江南の華と散つた田中○○隊長は語る

兩名は南京空襲にも數回參加し、殊に陸軍の追擊戰に協力、敵陣中を爆擊すること數十回、數日前には敵彈のためガソリンタンクを射ちぬかれ白煙を吹きながらも歸還したこともあつた、勇猛果敢な急降下爆擊の名手であつて眞にかけがへのない惜しい部下を失つて殘念でたまらない

二百度の大旋回 ○○部隊長談

【上海廿八日發國通】進擊また進擊の快報刻々に來り○○部隊本部に○○部隊長を訪へば部隊長は赭顏に笑を浮べて語る

兵も實によくやつてくれた本部隊が上海に上陸して以來今日まで丸一ケ月その今日完全にわが全部隊が蘇州河の線に達したことは派兵の目的の一部を達したといふべくお目出度い極みである、本部隊上陸の時の體形より考へると現在二百度近い大旋回をやつてゐるのであつて殊に二十四日以來の百度近い旋回とこれに引續くわが軍の急追に敵は全く狼狽し潰走し去つたものと思はれる、急進また急進實に喜ばしいが今日をなした蔭に肉身を失くした多くの人々の悲しみの存することを考へると國策のためとは言へ實に心苦しい次第である

人事往來

▲吉村倫之助氏（滿鐵參事）二十八日來京ヤマトホテル
▲中野蓬成氏（會社員）同國都ホテル
▲安達四十四氏（機械商）同
▲大隈將次郎氏（官吏）同向陽ホテル
▲高橋佐吉氏（同）同
▲河谷俊清氏（同）同
▲大石義光氏（同）同
▲滝谷實氏（國道局）同中央ホテル

ソ聯武器、軍事專門家續々支那戰線へ

對支援助愈よ露骨化

【東京國通】ソ聯邦の對支積極的援助は最近特に露骨となつて來たが、廿八日某所着情報によれば、赤軍の飛行家ならびに戰車專門家合計六十名は遲くも十一月中旬頃には南京到着の豫定で、さらに新編第八路軍の指揮に當らしむるため蒙古人五十名と小型戰車卅台、機關銃七十基、大砲十八門を送ることゝなつたが、武器は十月中旬外蒙經由既に西安に到着した、なほ在ソ聯支那大使館付武官周少將はソ聯より供給される武器を本國に廻送するため專門家數名を同伴の上新疆經由飛行機で十一月初旬には南京着の豫定である

上海の大敗戰に南京政府大狼狽

【上海廿八日發國通】上海戰線の全面的敗退により支那軍の士氣は根本的に沮喪、國民の信望と期待を一朝にして失つた支那側軍事最高首腦部は今更ながら周章狼狽し、あらゆる手段を講じてこれが挽回策に狂奔してゐる、すなはち廿八日の支那紙は一齊に『總司令部發表』なるものを掲げ上海戰爭の失敗を極力隱蔽して

支那軍は戰略上より戰線を蘇州河以南に短縮しまた敵の江上艦艇の射程外に離れた、しかして閘北、江灣を拋棄しても大上海には、なほ南市、浦東が殘つてゐるから支那軍が上海全市を拋棄したといふのではない

と苦しい辯解をなし、また大公報の論說には

日支全局より言へば上海戰爭は抗戰の主要部分でなく日支問題の根本は北方にあり主要なる戰場は北方にある、從つて眞の勝敗は北方において決せられる

と上海戰の重要性を俄に轉落せしめる豹變的態度に出てゐる、また市黨部も抗敵後援會も「同胞に告ぐる」の書を發表し失望せる將兵及び國民を更に欺瞞せんと大童の宣傳をなし、南京政府軍政部もまた當局談を發表

上海戰は決して負けたのではない、持久戰の目的で戰線を移動したのだ

と白々しいみえを切つてゐる支那側軍政黨各機關の頽勢を建直すべく狂態を演じてゐることは軍隊の士氣喪失と民意の離反を如實に物語るものである

九ケ國會議に縋りつく

【上海廿八日發國通】南京政府首腦部は北支、上海兩戰線の全面的敗退に伴ひ九ケ國會議に縋りつかんと焦躁苦惱の態度ます〳〵顯著なるものあり、今や九ケ國會議は對日牽制の唯一の殘された方法なりとして會議の成果に非常な關心を拂つてゐる、從つてその準備工作にも非常な努力を拂つてをり、言論機關も筆を揃へて會議の重要性を強調、國民の注意を喚起してゐるが、南京よりの情報によれば、國民政府最高首腦部は最近しば〳〵協議を重ねた結果該會議に提出さるべき議題

一、日支停戰案

二、日支紛爭解決の原則につき支那側の根本方針として

日支停戰の條件は七月七日蘆溝橋事件前の現狀に恢復する

ことを最終的に決定したといはれる

故谷村中佐葬儀

【○○廿八日發國通】山西の野に華と散つた塚本部隊の故谷村中佐の葬儀は、廿八日午前十時卅分より○○留守隊營庭において數乃未亡人、遺兒數近君、數子さんの遺族ならびに鄉軍、國婦會員、軍官民多數列席のもとにしめやかに執行されたが、數乃未亡人ならびに兩兒の姿に列席の人々は一入の哀愁をそゝつた

現役法施行令を改正

【東京國通】陸軍では二十九日勅令をもつて現役法施行令の改正を行ふことゝなつた、改正要點は左の如くである

一、今まで第一補充兵役にあるものゝ召集順は抽籤の順序によつてゐたが、これを特殊のものにあつては陸軍大臣の定むるところにより抽籤順序の如何に拘らずこれを百二十日以內に召集し得ることゝする

二、醫師法第二條の第一項各號の一つ該に當するものは抽籤順序に拘らず近く召集されることゝなる

句讀

上海に於る我が海陸空共同作戰は見事奏效し二十三日よりいよ〳〵總攻擊に移り運輸通郵▼疾風の如き神軍は早くも南翔、江橋鎭を拔かんと將兵の意氣正に天を衝く▼今次上海總攻擊は戰線十キロ餘に亘り敵の死傷十萬を超へるといふを見ても日露戰役の旅順包圍戰以上の壯烈さが想像出來る▼南京に迫るもこゝ數旬の中ならん切に將兵の武運を祈る▼一せん貯金を始めて銃後護りの堅き決意を示した國婦新京支部は▼資源確保の一方法として鐵屑廢物等廢物蒐集運動を開始した▼細胞組織の國婦のこの運動は豫期以上の成果を收めること明瞭なり▼か弱き女性の手にてゆるぎなき銃後の護りが固められつゝあるを想ふと恥しいやうな氣がする五尺の男もあらう

社説

九ヶ國會議不參加回答

一

ベルギーのブリユツセルで開かれやうとする九ヶ國條約關係國會議に不參加の態度を表明した日本の回答は一昨二十七日に發せられ、これに關する聲明も同日發表を見た。その回答において日本は率直に、國際聯盟總會が今次事變につき日本が九ヶ國條約違反をなせるものと斷定したことの不當な旨を明白にし「聯盟が帝國の名譽に關する斷定を下し又帝國に對する非友誼的決議を採擇せる事實あるに鑑み今次開催せらるべき會議においては到底關係國間の充分にして且つ隔意なき交渉を行ひ日支間の事變を現實に即せる公正妥當なる解決に導くことを期待し難しと認めざるを得ず」と述べ、ベルギー政府の招請を受諾し得ないことを遺憾としてゐるのである。

二

聲明においては一層明瞭に聯盟が持つた役割を指摘してゐる。すなはち「近年南京政府をして排日に狂奔せしむるに至れる重要なる原因の一は往年滿洲事變に際し國際聯盟が東亞現實の事態を無視して採擇せる決議により支那の排日政策を鼓舞する結果を招來せるにあり」との字句これである。そして今また聯盟は深く事變の眞因を究明することなく、支那側の宣傳に乘つたまゝに不當なる斷定を繰り返し、進んで公然支那を援助するところの決議をまで採擇したのである。斯くては支那の抗日を愈よ鼓舞し、彼が常套手段とせる以夷制夷の政策が今後にも可能であるが如き幻想を抱かせて、事態の收拾を愈よ困難ならしむるものたらざるを得ない。而して東亞に殆んど利害關係を有しない諸國をも加へて企てられてゐるやうな會議を開かうとも、その成果期すべきもの〻存し得ぬことは既に今日に於いて明白なのである。日支の紛爭は東亞の安定に共同の責任を負擔する兩國間の直接交渉によりてのみこれを解決し得べしとの信念に立つて一路邁進するほかはない。

三

九ヶ國條約國會議の議起るや、日本の一部には敢へてこの會議に參加し列國の蒙を啓くべしとする議論も行はれた。しかし今や會議不參加が決然と表明された以上、列國の迷妄を醒ますためには他の方法が執らるべきである。そしてそれにも、今日の事態を招かしめた南京政府の態度の事實による反省を實現せしむることが最も有力な現實の證明となるべきである。この點に於いて南北に於ける戰況が最近著しく進展し、われらの望む事態の展開がこれによつて大いに接近せしめられつ〻あるのは最も意を强うするに足るところである。列國にして日本と協調せんとするならば此の本筋の上に立つことが先づ肝要なのである。

北支の經濟開發に 外資の流入歡迎

十河興中公司社長意見發表

【東京國通】十河興中公司社長は二十七日東電本社に小林社長を訪問、折柄來訪中の郷經濟聯盟會長と開灤炭の電力聯盟加盟各社への供給問題ならびに北支における電力統制問題等につき種々懇談をしたが、更に北支經濟開發の一般的問題につき外國資本の北支流入は之を歡迎することに意見一致をみた、しかして北支經濟開發につき今後興中公司が如何なる役割を演ずるかは一般に關心をもたれてゐるが十河社長は今後も隨時各方面の財界人と北支開發に關し意見を交換する筈である

皇軍の大捷で

對支戰時海上保險大巾引下げ

【東京國通】北支ならびに上海における皇軍の決定的大捷に鑑み海上保險一木會では近く秦皇島、天津、塘沽、大沽、龍口、芝罘、青島、上海など支那各港向け海上輸送貨物の戰時保險割增料率大巾引下げを斷行する方針である、一方これと相呼應してロンドンにおいてもわが歷然たる戰捷に鑑み同じく對支戰時保險割增料率の大巾引下げを斷行すべく來週中には實施の運びに至るものとみられる

北支に物凄い 日本語熱

【北京廿八日發國通】皇軍の威力によつて明朗化されてゆく北支の話題は數々傳へられてゐるが、北平から北京と改稱されて以來一般民衆のわが軍に對する讃美と憧憬は日に〱昻まりつ〻ある、その第一は北京における物凄い日本語熱で、各書店では「日本語教程」「日本語早わかり」といつた本が飛ぶやうに賣れ、到るところの電柱には北京同學會日語班文化日語學校、日語大學等のポスターばかり、それらの學校へ行つて見ると顎鬚の生へた大學生やモダンガールが子供等と一緒に「日本、有難う、御免なちやい」と廻らぬ舌で一生懸命、微笑ましい情景だ、これまで日本人が支那に來て一番不愉快なのは自分の姓名を支那語で呼ばれることであつたが、大きなデパートの店員等はこの點に氣がつき數限りない日本人の姓名を手帳に書いて日本のお客が來る毎に一つ〱その日本讀みを敎はつてゐる、忙がしい兵隊さんなどとんでもない暇を潰され閉口してゐるが、誰も迷惑がらずに親切に敎へてゐる、この調子で行くと北京では日本語で不自由しないやうな日の來るも近からうし、反對に支那語學敎授は今にあがつたりになるだらうと言はれてゐる、優美な日本服に對する憧憬も若い女性の間に擡頭し振袖の尖端ガールもちら〱見受けられる「打倒南京政府」のスローガンは既に大衆の心に浸み込んで常識になつてゐるのでさうした傳單や幟の文字はもう色褪せて必要を失つた位だ、大衆と大衆の心は固く結びついて日支親善は日常の生活を通じて滿點だ

陸大卒業式擧行

【東京國通】陸軍大學では廿八日午前十一時五分畏くも天皇陛下の親臨を仰ぎ奉り第四十九期學生ならびに第四期專科學生の卒業式を擧行した

郵政儲金原簿事務を 各地方管理局に移管

十一月一日改正官制公布

昨年末より開始された郵政爲替及び今春制度改正を行つた郵政儲金はその後順調な發展をとげつ〻あり、現在爲替口座は二千口、儲金は千四百萬圓におよぶに至つたので、郵政當局においては從來中央の郵政總局において取扱つてゐた儲金及び爲替の原簿事務を各地方郵政管理局に移管して僻遠なる地方における利用者に便すると同時に、郵政事業の發展とサービスの向上に資することゝなつた、すなはち十一月一日より儲金原簿所管事務を新京、奉天、哈爾濱、錦州の各郵政管理局に移管各管下の儲金原簿の事務を取扱はしめ、また爲替口座所管事務を新京郵政管理局に移すと同時に、哈爾濱においても新たに口座事務の取扱を開始し、北滿地方の利用者に便することゝした

なほ右に關し政府では郵政管理局官制改正を行ふため廿八日臨時參議會議諮詢を經て十一月一日これを公布することゝなつた

興安騎兵部隊 堂々凱旋

輝く功績に全軍はりきる

【治安部廿八日正午發表】＝皇軍に加つて〇〇方面の敵を蹴散らし八月初旬より二ケ月に亘つて奮戰せる無敵興安騎兵部隊は數々の武勳を樹て去る廿二日〇〇部隊の列車を最後に無事歸還した、今や興安騎兵部隊が使命を遂行し凱旋するの報傳はるや同部隊駐屯地帶の歡迎振りは物凄く〇〇にて盛大なる官民合同の凱旋歡迎式を擧行したが、當日は畏くも侍從武官郭上校を御差遣遊ばされ、軍當局よりは治安部大臣代理劉上校、最高顧問代理井藤少佐等が列席した、凱旋部隊の第一班が〇〇に到着したのは廿一日午前零時四十七分、第二班は廿二日午前四時、最後の部隊が入つたのは午後十時であつた、列車が到着するや各機關代表、在鄕軍人、國婦、學生等緊張裡に特派せる軍樂隊の歡迎吹奏あり、こゝに歡迎式が盛大に擧行され廿二日は奏部隊長が歸還報告をなし、これに對し侍從武官郭上校より優渥なる聖旨が傳達され、奉答に續いて、治安部大臣代理劉上校より感狀を授與、巴警備司令官の訓辭、各機關代表者の祝辭に對して奏部隊長が挨拶した、なほ原隊に歸還後廿四日〇〇では公會堂に於て官民合同の凱旋部隊歡迎會が擧行され晝間の旗行列、夜間の提灯行列など軍國氣分を遺憾なく發揮した歡迎振りを示した

寫眞說明　上海の戰場に日獨兩將軍の會見（右松井大將　左オツト少將）

日本攻擊は不當 米の反省を促す

時事解說家カーター氏論說

【サンフランシスコ廿七日發國通】上海戰線展開と九ヶ國會議開催の切迫につれて當地一般民衆の關心は支那事變の再檢討と從來の煽動的反日態度是正の必要を論議する傾向に向ひつ〻あるのは注目に値するが、米國ラヂオ時事解說家として有名なボーク・カーター氏は每週三回の全米ラヂオ放送は勿論最近エキザミナー紙上においても連日支那事變に關し米國の反省を促し、日本の正しき立場を論じて多大の注意を惹いてゐる、二十五日のエキザミナー紙でカーター氏は支那事變に關して國際道德や國際法上より日本を攻擊することの不當を次の如く極論した

一九二七年南京事件に際し英米兩國軍は南京を砲擊したが當時支那の國際調査委員會開催要求は握り潰されまた九ヶ國條約を採用する國もなかつた、けだし砲擊者が英米兩國だつたからである、しかも今回日本は軍事上の必要から爆擊を敢行するや締約國には大騷ぎして人道問題呼ばゝりをし、遂に九ヶ國條約國會議招集を要求したのである、一九二七年南京事件當時の米國の國務長官はケロツグ氏でケロツグ不戰條約は同年締結せられ米國のニカラグア出兵も同年行はれた、後年ケロツグ氏がノーベル平和賞を受領したのは如何にも皮肉である、ケロツグ條約は明かに自衞權を認めたものであり、特殊權益擁護のため戰鬪することは條約違反とはならない、要するにケロツグ不戰條約は持てる國の外交家が國民を率ゐて持たざる國の國民に敵對せしめんがための最も冷酷な條約だ、しかも平然としてノーベル賞を受領したケロツグ氏の良心を疑はざるを得ない

物言はぬ戰士 軍用鳩の殊勳

＝日下部育成所長談＝

今次事變勃發とゝもに勇躍第一線に出動してゐる物言はぬ傳書鳩は各戰線に銃とる兵士にも劣らぬ目覺しい活躍を續けてゐるが、この可憐な傳書鳩の第一線における活躍ぶりを視察して廿八日歸任した鐵道總局傳書鳩育成所長日下部照氏は左の如く語つた

北支には現在總局から〇〇羽の鳩を送つてゐる、何れも小形移動鳩車によつて最前線に出動して居りますが成績は極めて良好で先頃一回も訓練しない鳩が張家口良鄕間一千二百粁を見事に翔破した程で、津浦線の如きは水害のため電信電話が杜絶してゐるところでは傳書鳩は唯一の通信機關で各所において兵士にも負けない立派な働きを續けて居ります、また中には翼に敵彈をうけ血まみれとなりつゝも瀕死の翔破をつゞけ無事重要任務を果したといふ聞くも涙の出るやうな話が澤山あります、銃後の方々も君國のため默々として奮鬪を續けて居られるが、これ等もの言はぬ勇士（鳩）に對しても大いに聲援を送つていたゞきたいと思ひます

對歐宣傳特使に 支那陳公博を急派

【上海廿七日發國通】九ヶ國會議を前にして南京政府はヨーロツパに對する宣傳特使を急派するに決し、廿七日宣傳部長陳公博を對歐特派使節に任命した、陳は直ちに現職を辭し近く飛行機で渡歐する、戰時內閣宣傳部長たる陳公博の辭任を機とし宋美齡は自ら對內宣傳、對外宣傳統合機關の主宰者たる一役を買つて出で、陳の後任には宋美齡の腹臣董顯光を推薦中であつた處廿七日南京政府の正式任命を見た、董は從來專ら外國電報檢閱主任として上海にあり、外人記者の對外發電をコントロールしてゐたもので、今後宋美齡、ドナルド董顯光のトリオによる惡宣傳、逆宣傳はますます積極性を增すものと見られる

駐支ソ聯大使

【ベルリン廿六日發國通】南京駐劄ソヴイエト大使ボゴモロフ氏は、目下歸國モスクワに滯在中だがD・N・B通信社モスクワ支局發表によれば同大使は近く辭任ワルシャワ駐劄ソヴイエト大使イワノフ・ダフチアン氏が後任となると噂されてゐるといはれる、更迭の原因としては對支政策に關しボゴモロフ大使とクレムリンとの間に意見の衝突が生じたゝめといはれるが、後任に擬せられてゐるダフチアン氏は、かつて支那及びペルシヤに在勤しアジア通として知られてゐる

皇軍大戰捷に 雜株も續騰

【東京國通】上海の戰局はますます有利に進展しつゝあるので廿六日までは主として新東だけの買人氣だつたものが廿七日はいよ〱普遍的となつて雜株も紡績、製糖の二、三圓高、軍需工業、石炭、人絹一、二圓高、電力の一圓內外高をはじめ軒並續騰して商ひも漸く活氣を帶びて來た

滿鐵と滿洲工業會の 懇談會第一日

滿洲產業開發の重要問題を爼上に滿鐵と滿洲工業會の劃期的懇談會は廿八日午前十時より奉天ヤマトホテルに於て滿鐵側四十三名、工業會側約百名出席の下に開會、先づ主催側たる滿洲工業會山本理事長挨拶を述べ、次で滿鐵世良產業部次長は「滿洲における一般工業について」と題して造詣深い滿洲工業論を解說、一旦休憩、午後一時再開

一、滿支鮮產業企業の調整方策に關する件
一、產業五ケ年計畫進捗狀況に關する件
一、滿洲國內勞働者に關する件

の諸問題について工業會野添常任幹事、世良產業部次長より說明、二十八日の日程を終つたが、同懇談會は二十九日も引續き開催、滿洲工業會が多年早急實施を要望してゐる

一、滿洲產業開發に對する諸問題
A、滿鐵中央試驗場の開放
B、工業資源館設立
C、滿支羊毛統制
二、滿鐵々道運賃改正要望
A、海港發着特定運賃の合理的改正
B、社、國線運賃の遠距離遞減法實施
三、鐵鑛投資に關する要望
A、滿洲國內に鐵鑛需要の現狀とその將來に關する對策協議
B、各品種別鋼材の貯藏數量增加
四、技術關係に對する懇談
五、請負工事に對する懇談
A、滿鐵の工事入札時期に關する要望
B、競走入札至上主義の改善

等につき滿鐵首腦部との間に隔意なき協議が行はれることゝなつて居り、各方面よりその成果を期待されて居る

ウオロシロフ將軍 極東シベリヤへ

【モスクワ廿七日發國通】D・N・B通信社モスクワ支局の報道によれば、ウオロシロフ將軍は十一月七日の革命廿周年記念祝典に出席後直ちにモスクワを出發ハバロフスク並びにウラジオストツクに向ふことゝなつたといはれる、ハバロフスクには現在極東赤軍總司令ブリユツヘル將軍が滯在してをり、ウオロシロフ將軍が極東シベリヤの軍事要地を訪問するとの報道は時節柄極めて注目されてゐる

ソ聯內紛 又復卅五名處刑

【モスクワ廿六日發國通】ソヴイエト各地における肅正工作は地方紙によつて每日報道されてゐるが、廿六日D・N・B通信社モスクワ支局の報道によれば、さらにアストラカン、ベスラウ、サラトフ、タタール、北コーカサス、ピアビ、チヤツキイ各地方で合計卅五名處刑された

支那の共產化は 全世界の關心事

―佛紙論調―

【パリ廿六日發國通】廿五日附レツプブリーク紙はドミニツク主筆の論文を掲げ、左の如く强調してゐる

支那は今や全くコミンテルンの策源地となつた、スペインが共產化することは確かに重大問題であるが、四億の人口を擁する支那が共產化するにおいては單に歐洲の關心事にとゞまらず全世界の問題とならう、フランス共和國保全の責任を擔當するわれ〱は佛領印度支那がアジアにあることを忘れてはならない

奉天毛皮市場 活氣を呈す

滿洲における毛皮類の主要集散地たる奉天の毛皮市場は支那事變の影響を受けて一時閑散を示してゐたが十月初旬頃より海外毛皮相場の好轉から在奉英米その他外商の需要を喚起し毛皮市場は著しく活況を呈するに至つた、現在奉天における毛皮相場は製品精製ならびに無精製品犬皮は一枚二圓五十錢乃至八圓を作年に比し三、四割方の昻騰を示しその他狐皮、牛羊馬皮等何れも一割乃至二割の昻騰を示してゐる

商況欄 廿八日後場

株式相場

●大連株式（短期）

銘柄	寄	引
五品	一三、四〇	—
豆新	一五〇、五〇	—
京新	六七、七〇	—
日新	四四、〇〇	—
満鐵	三三、一〇	—
鐘新	二八、一〇	—
土木	一三、七〇	—
日新	四〇、五〇	—

●奉天株式（短期）

銘柄	寄付	大引
満取	一三、一〇	—
東新	八四、一〇	—
大新	六八、〇〇	—
日新	—	—
同品	—	—
五新	五四、八〇	—
豆鐵	三六、〇〇	—
満新	三四、〇〇	—
鐘新	—	—
同甲	—	—
電毛	六二、一〇	—
満書	—	—
日紫	—	—
電化學	—	—

新京取引市況（廿八日後場）

品目	寄	引	出來高
現物 包米	—	—	—
大豆	—	—	—
王蜀黍	—	—	—
高粱	—	—	—
小豆	—	—	—
十月限	五、五五	五、五七	一五車
十一月限	五、六〇	五、五七	三六車
●高粱 十月限	—	—	—
十一月限	—	—	—

手形交換高（二十八日）

三八四枚　[illegible]

躍進國都待望の裡に、おかけさまで、愈々新館落成、全店モダーンな明色に彩つて隅から隅まで新鮮な獨自の洋品百貨を取揃えて皆様の御來店をお待申し上げて居ます

新京銀座　**平本**　電話(3)二一五八／三一六三番

家庭

寒さに向つての家庭食料品に就いて

（一）三中井副店長　山脇健五郎氏談

いよ／＼秋も深くなりまして味覺をそゝる時季となりました。只今から秋から冬に向つての食料品に就いて申上げて見たいと存じます。[illegible]

鮮魚の類 から申上げますと [illegible] 味しいものと言はれて居ります。殊に其のボラの子はカラスミとして加工せられお値段は大變高價なものでありますがお酒ノ肴としましても重寶なものであります。又お吸物として召上りますのも又一段と美味しいもので御座います此のカラミノ産地としましては、主に臺灣、長崎方面で多く製造せられるものでありまして中でも長崎物は最高級品と言はれて居ります。値段も臺灣と長崎物とは相當な値開きを持つて居ります。序に

お酒の肴 として用ひられて居るものを一、二申上げて見ますと生コノワタ、鹽辛、其の他突出物としまして白魚、甘鯛、スルメ等の加工品があります。コノワタはナマコの腹ワタから取つたものでありまして飲食店方面では大變多く用ひられて居ります。次に鹽辛、鯛、イカ、カツオ等でありますが仲でもイカ、カツオの鹽辛が最も多く市場に賣出されて居ります。尚白魚甘鯛等は味淋の味付加工にて賣出されて居ります。又生雲丹もお酒を召上る方々には珍らしくて大變喜ばれるものであります。次にブリは刺身、照燒等で召上るのが一番美味しく十二月頃より一月頃のものが味の好い時季でありまして殊にお正月の料理には何處の御家庭にも使用されましてなくてはならない魚であります。又サワラは主に煮付、照燒にして戴くのが最もよろしう御座居ます。次にマグロもやはりこれから市場に出るものが味は一番よろしゆう御座居ます。殊に

お刺身と して戴くのが美味しいのですが只今は各地にコレラが流行して居りますので生身で召上るのは危險でありますから煮て召上る樣お勸め致します。それから、イワシ、サバ、新巻鮭等は各御家庭に置きまして日常の惣菜として用ひられて居りますが味のよろしいのはやはりこれからであります。殊に誂は又滋養の點から行きましても子供さん方のお辨當のオカズに大變宜しくお勸め致します。鮭に次ぎまして明太ノ子もお子供さん達に非常に歡迎されて居ります。次にフグは

ります。尚フグちりとしては又一段と美味しいもので御座居ます。之は十一月中頃から二月頃迄のものが一番味の好い時季とされて居ります。從來フグは危險なものと言はれて居りますが極く新らしいものであれば料理の仕方によつては少しの危險もないのであります。なるべく熟練なる人の料理によるものを召上る樣お勸め致します。尚各料理と致しましてヨセ鍋、ちり等の材料としましてはホーボ、ハゲ、オコゼ、コチ、ハモ等が宜しく極く油けの少くない魚がよろしゆ御座居ます。これからの寒い冬の夜等には殊に暖い鍋料理も又格別よい物で御座居ます。

次に肉類 に付て申上げますと牛肉、ブタ肉、カシワ等でありまして牛肉は洋食材料として多く用ひられて居りますが季節向とし召上るのはスキ燒を戴くのが最も美味しいかと存じます。尚內地の牛肉に比較しますと滿洲物は値段は非常に安い樣ですが味の點から行きますとおとる樣に思はれます。ブタ肉はハムソーセージ等に加工されまして殆んど洋食材料に用ひられて居ります。尚サツマ汁にお用ひになるのも結構です。カシワは年中色々の方面に使はれて居りまして今更申上げる迄もありませんから略します

其の他 小鳥料理 としましてウズラ、スヾメ等の照燒もお美味しくウズラは粕漬としましてもお美味しいもので御座居ます。次に野菜で御座居ますが秋の王座を占めるものと致しましては何と言ひましても松茸で御座居ます。昨今市場に賣出されてゐるものは殆んど內地ものでありますが八月頃珍らしく市場に出るものは北鮮方面で取れるものが主であります。朝鮮方面では餘り多く取れないのに大半が內地方面へ送られます爲滿洲へは極く少量しか送つて居りませんが八月頃の松茸としては珍らしいので非常にお値段も高う御座居ます、九月下旬より十月頃になりますと恰度內地方面も最盛期になりますのでどん／＼と滿洲にも入荷致しますのでお値段の方も追々と安くなつて參ります。

朝鮮松茸 は內地物に比較致しますと非常に香りが少い樣であります。どこの御家庭でも松茸のお料理は大變廣範圍に使用されて居りますが、松茸の特徵たる香りを失はぬ樣御料理の節に御注意が肝要で御座居ます。殊に燒松茸、ムシ松茸等は香りも宜敷くお美味しく戴けます。其の他土瓶むし、赤だし、麵類、フライ、天ぷら等松茸の使用は非常に廣範圍なものであります。本年は內地も松茸は大變豐作でありまして例年なれば松茸狩が盛に行はれますが今年は時局柄餘り松茸狩もない樣であります。したがつて今から罐詰として盛に製造されて居ります。新物の松茸の罐詰は例年に比して餘り高くない樣想像致して居ります。

【寫眞は山脇健五郎氏】

料理献立

秋刀魚一口揚

さんまはいろ／＼と利用法もございますが、これはさんまを一口で召上れる程度に切つてパン粉とか又は道明寺粉をつけて油であげたものでございます。

【材料】（五人前）
さんま　二尾半
醬油　大匙二分の一
生姜汁　茶匙一杯
メリケン粉　少々
鷄卵　一ケ
道明寺又はパン粉　少々
（それより少くても可）

さんまを三枚に卸して切り生姜醬油へつけてからフライのやうに粉類をつけてあげます

お刺身にしますと淡白で他に追從を許さない味を持つて居

家庭燃料講座

石炭の焚き方（中）

日滿商事燃料相談部

〃第二のコツ〃

次に石炭の繼ぎ足し方でありますが、ペーチカ類は特に固定式ペーチカ俗に云ふ露西亞式ペーチカは、中が一面煉瓦が埋めてあつて其中に幾筋かの煙の通り道があるのですから此の煉瓦を早く煖めると云ふ事が肝要です。從つてぼつ／＼焚いてゐたのでは煉瓦が煖まりません。先程の樣にして焚をつけて、石炭が眞赤な火即ち火になつたら、奥の方か、横の方に靜かに押しやり、空いた所へ新しく石炭を入れる。又これを繰り返へすやうにして、成る可く早く火袋の中に火を澤山こしらへる。特に煉炭を焚く場合には、厚焚きと申しまして、成る可く早い時間に多量を火にして持たせると云ふのが、最も大事な「こつの第二」です。（殊に煉炭は半無煙炭を原料としてゐますから、本當の火力は火になつてから發揮するのです）

〃第三のコツ〃

斯くして大體火になつた頃を見計つて、少し位早目にダンパーを全部若し穴のあいてるな、ダンパーなら九分位閉めて置きます。（ペーチカ焚きの上手、下手はダンパーの閉め加減にも非常に深く關係があります）尚日中外出の時又は夜休む時、場合によつては火になつたら必ず上に灰をかぶせて置くことです。俗に埋火と稱してゐます。出來れば埋火の時、石炭又は煉炭の粉を火の上にかぶせて其の上に灰をかぶせる。（燃え殘りがある樣な時には灰の所に一つ二つ穴を空けて置く）埋火を丹念にやるか否かによつて火持は非常に違ひ、翌朝焚き付の薪を使はずに、假令使つても火袋が冷えてゐませんから非常に少くて濟む事になります。是が第三のこつです。

以上三つのこつ—と云ふ程のことではないかも知れませんが、是を丹念に少々の手數を厭はずに實行されゝば、確かに一多の間には相當效果がありませう。

次に普通深底燃燒爐即ち一般家庭に多く使はれてゐます溫水罐例へばアルコラボイラーなどの焚き方に就て說明致しませう。先づ焚き付け方ですが是は二通りある樣です。

溫水罐の焚き方

一つは先づ最初から石炭をボイラーの投炭口の近くまで、即ち焚かうとする量の八九分通りを一度に罐の中に入れてしまうのです。そして少し上の方に凹みをつけて置いて、其處に前回ペーチカの焚き方の要領で、新聞と薪を挿入して點火する。火がついたら殘して置いた石炭を上から振りかけて置く。此の場合ダンパーは全部開け下の灰出口の扉は閉め、上の投炭口についてある菊型又は格子型の空氣の入口だけは開けて置きます。若し餘り煙突が引き過ぎる樣でしたらダンパーを少し閉めそれでも尙引き過ぎる場合は煙突の掃除口を少し開けるのも一法です。此の煙突の引き加減が餘り强過ぎても又素より弱くてもいかず其の調節が石炭の經濟に可成大きな影響を與へます。今申しました焚き方は丁度蠟燭が上から自然に下の方へ燃えついて行くのと同じ理屈でありまして、この方法で焚きますと、罐の中の石炭の上の方の溫度が高められ又空氣が充分與へられて出て來る瓦斯が、最も燃え易い狀態に置かれ石炭が自然に無理なく燃えるからであります。この焚き方によれば煤煙の出るのも少く自然燃料の經濟になり又部屋保溫上にも非常に具合がよい樣です。もう一つの方法は、罐の奥の煙突に近い方に最初新聞と薪を入れ、少し石炭をかぶせて置いて罐の手前の上から斜に石炭を投炭口の高さ位まで流し込んで置きます。それを十能に藏せた新聞紙に點火し、灰出口から入れて先に罐の中に入れて置いた新聞と薪に燃えつかせる、すると煙突に近い方の石炭から最初燃えて行きますから暫くして其部分が燃え切らない中に即ち穴が出來ない樣に又少量繼ぎ足してやります。かうして火が自然に手前の方の石炭に燃え移つてすつかり火になつて赤くなつた頃を見計つて斜に入れた罐の手前の方の石炭を向ふに押しやつて平にしてやる……と云ふ焚き方で、このこ焚き方のこつも前回申したペーチカの焚き方と理屈は同じであります。以上二つの焚き付け方は各家庭の罐の大きさ、煙突の引き具合其他各種條件の異なるによつて何れがよいとも申し兼ねますが是は各自試みて見て戴くより致方ありますまい。兎に角この何れかの方法を試して非常に燃料の經濟になつたといふ實例は澤山あります（何れ機會を見て上手に焚いて居られる家庭を御紹介致したいと思ひます）

カフエーサービス座談會

—7—

藝者に比べ何故か 女給は色眼で見られ易い

長谷川 どういふものか家內等は藝者さんには氣を許して居るやうですが、女給さんといふと誤解といふか親しみがないやうですね

關口 こんな處も見えますね

長谷川 藝者さんは正月やお盆にはたとへ手拭一本でも持つて家へ來る、また時々は送つても呉れたりして家內と接するから藝者さんは皆こうしたものかなんて考へて安心するのぢやないでせうか

細川 それもありませうね

追風 奥さん方にも少しカフエーを認識して頂いたらと思ひます

伊藤 私の店なぞには時々御同伴でいらつしやる人がありますが、和やかでいゝですね

岡田 先程から大分親子連れでカフエーにとのお話が出てゐるやうですが、そうしたらカフエーの面白味がなくなり自然カフエーがいらなくなるんぢやないでせうか、御家族連れで料理でも食べ食事でもするといふならまだ外にいくらでもあるんぢやないでせうか（笑聲）

田村 そうした方面ならグリルもあり食道樂もありますし、食道樂なんかいゝやうですね

坂井 分解作用によつてカフエーが出來たので何か變つた洋食を喰べたいと思ふ時はカフエもさりながらヤマトホテルとか國都ホテルの食堂あたりを御利用なされては？

眞殿 これでカフエーに家族連れがどん／＼行くやうになつたら女給さんが上つたりですね、第一女はあまりチップを出しませんからね

關口 私は曾つて東京にゐる頃クリスマスに招待されて家內や子供を連れて行きましたところその後家のものはそこへ行つてゐると安心して居るんですね

坂井 奥樣と御一緒に來て頂くことはよいが度々はどうですかね

長谷川 もとはそんなにカフエーといふところを家內がいやがらなかつたが、何でも女給小夜子といふ小說が出てからすつかりカフエーへ行くことを嫌ひ出したやうですね

關口 菊池寛だつたか書いてゐたやうに思ひますが、一般から見て十人のうち二人半は善良で五人が普通、惡いのは殘りの二人半だといつてゐます

坂井 十人のうち一人惡いと全體の評判を惡くします

織江 大體奥樣にも女給を認識して頂かなくてはこまりますが、その先にお客さんにほんとの女給を認識して頂きたいと思ひます、そうして奥さんによく話して頂けば奥さんも變には思はれず家庭不和になるなんて事ないと思ひますわ、中には奥さんがよくカフエーや女給を理解して下さる御宅では御客樣なんかあつた場合家では何となくものたらないといつてカフエーに招待なさる御家庭もあります

關口 それで考へたのですが藝者などする場合女給さんから家へ出張サービスはして頂けないものですか

林 そうしたことは料理屋組合、保安の方で反對の意見をもつて居られるのでどうも……私のところは集會に女給さんに行つて貰つて居ますが、只それ丈けでも奥さんに接するのでよい感じをもたれてゐるやうです、女給さんが一般の家庭に入ることはお客さんと親密になる上で非常にいゝと思ふんですがとかく保安の方で……

よし子 きれいな奥樣にどん／＼來て頂くと女給の必要がなくなりあがつたりになりますよ（笑聲）

眞殿 出張サービスですが公會堂でよく宴會の時など藝者、女給さん方の出張サービスを見ますがあんな時藝者は兎角一人か二人にサービスしてゐるが、女給さんは萬遍なくサービスして呉れて居ます、あの點全く女給さんに敬服します

田村 やはり藝者は座敷のサービス、女給さんはホールのサービスですね

友淸 私は宴會などの出張サービスに行く時は必ず居る人全部に一度は挨拶してサービスして來いといひます

長谷川 醉つて歸る時などでも藝者は一人でも二人でも平氣で氣輕に送つてくれるが、女給さんはなか／＼ですね

林 出張サービスでなくとも自動車なんかで御歸りになるやうな場合でも藝者は屆けなくとも行けるが女給は一々屆けなければいけないんです

友淸 實際觀て大きな宴會などの出張サービスは女給さんの方が良く行き屆いてゐると思ひます、お客さんの爲めにもも少し保安の方で御考慮を…

岡田 これまでが惡かつたのでこうなつたのです、段々向上されたらまた變るでせう

ラヂオ

けふの番組

〔M・T・OY 新京放送局〕 廿九日（金曜日）

●朝●

六、二五ニュース（東京）
六、三〇ラヂオ體操、入港船のお知らせ（大連）
七、二〇支那知識講座（大連）滿洲語講座は本月四日まで休講いたします　地名を通じて支那の都市を語る　橋田義詩
七、四五朝の音樂（大連）
八、二〇氣象通報
八、四五建國體操
九、〇五經濟市況（東京）
九、三〇經濟市況（東京）
一〇、〇〇家庭講座　多の家計に就いて　新京敷島高女　小原楓
一〇、二五料理獻立（大連）　大連高女教諭　岩井美喜
一〇、三五、家庭メモ
一〇、四〇經濟市況（大連、新京）
一一、三五經濟市況（大連）
一一、四〇經濟市況（東京）
一一、五九時報（東京）

●晝●

〇、〇一晝の演藝　國民歌謠　獨唱　香山美智子　伴奏ＣＹ放送樂團
〇、三〇ニュース（東京、新京）
一、〇〇經濟市況（大連、新京）
三、〇〇經濟市況（大連、新京）
三、四〇經濟市況（東京）

●夜●

四、〇〇ニュース（東京）ニュース、氣象通報（新京）
四、四〇經濟市況（大連、新京）
五、二〇ニュース（鮮語）
講演（鮮語）宗教と共産主義　張竹變
六、〇〇子供の時間（東京）うたのおけいこ　子供のテキスト十月號特選童謠
一、子牛　羽藤正明作詞　大中寅二作曲　黑澤貞子
二、坊やのお寫眞　松島政直作詞　深澤一郎作曲
六、二〇コドモの新聞（東京）　關屋五十二
六、二五商業常識講座　新京商業學校教頭　原島省吾
七、〇〇ニュース（東京）ニュース、告知事項、番組豫告（新京）
七、三〇俚謠　豐年祝唄（仙台）　大井つな　赤間政雄　外
七、四〇落語（東京）三百餠　林家正藏
八、〇〇管絃樂（東京）日本放送交響樂團
八、三〇軍歌物語「第三夜」（大阪）　爆彈三勇士　JOBK文藝課編曲　金平軍之助　淺野進二郎　深見泰三　合唱　大阪放送合唱團　伴奏　大阪ラヂオオーケストラ　編曲　內田元
九、二九時報、ニュース、ニュース解說（東京）氣象通報、ニュース、告知事項、番組豫告（新京）
一〇、二〇ニュース再放送
アナウンサー　上森　野村　宮岡

（秋田）豐年祝唄　佐藤たき　外

香山美智子さんの國民歌謠

伴奏はＣＹ放送樂團　後〇・〇一（新京）

……香山美智子さん……

希望の船

一、都大路は海もなき人の港と謳はれて遠く故郷を來し人の希望の船出するところ
二、世は荒波の海の上空に聳ゆる建物は潮に流るゝ浮城か人は木の葉の船のごと
三、漕げよ姉妹ほがらかに若き命の誇りもて花の顏黑髮のみどりの風になびくまで
四、希望の船のゆるぎなく漕げば淚もかゞやきて空も微笑む朝紅の幸ある國に近づかむ

乙女の唄

一、小磯風凪ぎ浮藻が香ふ空もかすみのおぼろ月神に祈ろかみ神の前に祈りや張りくる乙女の力あらけんげ花　足もとに
二、おもひあこがれ來た野のはてに今宵も仰ぐ一つ星神に祈ろかみ神の前に祈りやときめく乙女の胸よあら月見草　足もとに

ふるさとの

一、ふるさとの小野の木立に笛の音のうるむ月夜や
二、乙女子はあつきこゝろにそをばきゝなみだながしき
三、十年へぬ、おなじこゝろに君泣くや母となりても

椰子の實

一、名も知らぬ遠き島より流れ寄る椰子の實一つ
二、故郷の岸に離れて汝はそも波に幾月
三、舊の木は生ひや茂れる枝はなほ影をやなせる
四、あれもまた渚を枕孤身の浮寢の旅ぞ
五、實をとりて胸にあつれば新なり流離の憂
六、海の日の沈むを見れば激り落つ異郷の淚
七、思ひやる八重の汐々いづれの日にか國に歸らむ

希望の乙女

一、日出づる國のあさぼらけ紅き撫子色ぞへて咲くよ匂ふよほこらしく、瞳をあげてかゞやかに希望に燃ゆるわれは乙女よ
二、山脈遠き青空に巢だつ小鳥ははる／＼と飛ぶよ翔けるよ彌高く、瞳をあげてすこやかにあこがれ深きわれは乙女よ
三、荆棘の繁くつゞくとも、道は一すぢ峠みち星が光るよ暗夜にも、瞳をあげてまさやかに操はかたきわれは乙女よ
四、日出づる國の朝ぼらけ、谷の白百合つゆうけて咲くよ匂ふよほの／＼と、瞳をあげてすこやかに心は淸きわれは乙女よ

夜明けの唄

一、霧は晴れるよ夜が明ける風はさゝやくマドロスに起きよ船出だ帆を上げよ海に眞赤な日がのぼる
二、星も消えるよ夜が明ける風はさゝやく鳥の巢に起きよ歌へよ飛び立てよ森に眞赤な日がのぼる
三、稻はそよぐよ夜が明ける風はさゝやく若者に起きよ野に出よ耕やせよ畑に眞赤な日がのぼる
四、草は朝露夜があける風がさゝやく牧場にも乳をしぼれよ積み出せよ柵に眞赤な日がのぼる
五、火の見櫓に夜が明ける風はさゝやく鍛冶屋にも打てよ鳴らせよ金槌を村に眞赤な日がのぼる

日の出島

一、黑潮躍る大洋に海濤花と散るところ千古の緑みどりして御威稜たり日の出島
二、朝雲徹いて昇る日を仰ぎて吾等一齊に只「日本」と讃ふれば燃ゆる歡喜の美わしさ
三、あゝこの島に生れ來て上一系を畏みつ萬朶の櫻もろともに生くる感謝を誰か知る
四、譽れ若人躍進の正義の航路たゆみなく世界の海に船出して示せ幸ある日の出島　示せ精神の日の出島

俚謠　仙台と秋田より

後七・三〇

豐年祝唄（仙台）

唄　大井つま
唄　吉田政己

「一穗植えて千穗となる街道の端の早わせ」
「今年豐年彌勒の世中秋の實りを倉に積む」
「七穗で八桝八穗で九桝豐年實りをはかり込む」
「早稻で三升取る中稻で七升あとの晩稻は箕ではかる」
「鎌倉の御所のお庭で十七乙女が酒を漉す酒をこすにはたゞではこさぬ於ふちたゝいてしなでこす此の酒頂戴する人は命長らへ末繁昌」

豐年こい／＼節

唄　赤間政雄
尺八　木村慶治郎

「今年やエーこい／＼今年豐年滿作で道の小草に米が生る豐年滿作サッサとこい」
「今年豐年滿作で稻の穗波にづぶくより」
「今年豐年滿作で里は黃金の穗の波」
「今年豐年滿作で雪の積むほど米つもる」
「今年豐年滿作で八穗一石倉七つ」
「今年豐年滿作で富士の山ほど米と酒」
「今年豐年滿作でお伊勢まゐりの旅仕度」

甚句（秋田）

佐藤たき　外

「あれこ寢ないで田の水みれば秋は黃金の夢を見た」
「今年豐年穗が咲いて桝が足らないでみで量つた」
「めでたうれしや思ふ事叶ふた田の面を一面黃金の波」
「顏も姿も野百合と見せて踊りぬきましよ夜あけまで」

荷方節

「さても目出度いこの家の御亭主今年豐年穗が咲いて抱いて喜ぶ黃金の山めでたく／＼」
「正月二日の正夢に扇の形に池を掘り池の邊りに稻うゑて一株刈りては千刈りよ二株刈りては三千刈三株四株は瑞穗の寶富士の山程米を積みこれで造つた泉酒この酒のんだ人は命永らへ末廣く」

學藝

ベロニカの花束
＝歐洲映畫に期待す＝（一）

隨筆　山下明

「小兒模體質」の女優は先天的に優れた演技の持主であるといふ。ヂヤネット・ゲーナー、シルビア・シドニー、シモーヌ・シモン、フランツイスカ・ガール、日本では田中絹代、市川春代等一寸考へただけでもこんなに頭に浮ぶ所でさきのフランツイスカ・ガールは私は「ベエテルの歡び」（ウイン・ユニバーサル映畫）で先日初めて見たのであるが、その達者なのにすつかりうれしくなつて彼女の寫眞はその時から私の机の前の戀人である。（私は浮氣者でです）そこで彼女の身元を調查して見なければならない。彼女は一九〇四年洪牙利の首都ブタペストに生る、とあるから今年―いや彼女の年など言つたら叱られる。キヤバレー・シンガーより喜歌劇のスターとなり、映畫は「パプリカ」の一作が好評、引續き映畫に出演、「春のパレード」「ブタペストの醜聞」「ベエテルの歡び」「青い果實」「ベロニカの花束」「人形の母」が主な出演映畫であると。

さてこんなわけで「ベロニカの花束」（獨逸トビス映畫）が××座にかゝつてゐるといふので是非初日に見にゆかうと意氣込んでゐたが、つい忙しくて（いや實を云へば近頃映畫を見に行かない癖がついてしまつて）たう〳〵最後の日になつてしまつた。浮氣者の私も考へた。はる〴〵戀人が新京まで來てゐるのに逢ひに行かないとは余りにつれない仕打ちではないか。そこで最近東京から來たK君をひつぱつて、濟んだら新京の裏街情緒を案内するといふ約束で豆タクまで奮發して出かけたのである。

「皆樣、まあ私の話を聞いて下さい。私は或る花屋の賣子をしてましたの。私の店にライナーさんといふそれは立派な紳士がいつも花を買ひに來ますの。その方に實は私首つたけなんですの。所がライナーさんは毎日四の花束を御婦人の處に屆けさせるのよ。それも一つ一つ違つた御婦人の處へなの。私やけてあんまり口惜しかつたものですから或る日一軒の御婦人の處へ（それも余り若くない人なのよ）お花を屆けた時「ライナーさんはこれと同じ花を三つも一緒に外の御婦人に屆けてますのよ」と言つてやりましたの。サア御婦人は叱つたわ。怒つてライナーさんに言ひつけたの。それでライナーさんが又怒つて私の店をボイコットしてしまつたの。今度は店の奥さんが散々私を怒つて早速ライナーさんの處へあやまりに行けと云ふんです。仕方がないから私ライナーさんの處へあやまりに行つたわ。そしてわあ〳〵手離しで泣いてやつたのよ。所がとんだ間違ひから私ライナーさんの奥さんに仕立てられてしまつて、はづかしいやらうれしいやら―」。

とにかく「ベロニカの花束」はこんな風のコメデイなのである。―なんだ、そんなのならいくらでもアメリカ映畫にでも日本映畫にでもあるぢやないか？オット、一寸待つて下さい―。（未完）

内蒙軍從軍記（四）

旗下營子にて　長山一

三日目の朝となつた、敵は依然西方高地に頑張つてゐて砲撃の手を緩めない、相變らず内蒙古軍の前線地帶に鐵の雨を降らしてゐる。

精悍な蒙古騎兵の一部は既に前夜、夜陰に乘じて旗下營子城の一角東門附近を占據したのであるが、城内の敵は昨日同樣頑強に抵抗してゐるのだ、じわ〳〵と根氣よく敵の咽笛をしめてゆく内蒙軍の態勢は記者にも感じられたが、しかしこの際欲しいものは飛行機の爆撃だつた。

わが察哈爾作戰軍の無敵荒鷲群が一擧に飛來して木ッ葉微塵にあの敵陣地を粉碎してくれゝばいゝと記者は午前中そんな幻想を描いてゐた、もつとも記者にとつてはまつたくあてのない考へだつた。

ところがこの荒鷲群襲來の幻想はその日の午後二時頃になつて見事に現實に的中する結果となつた。

わが荒鷲群〇〇機が旗下營子を壓するばかりの轟々たる爆音をたてゝ一機、二機、三機と敵陣地の上空に現はれたのだ、敵陣からタンタンタンタンといふ高射機關銃の狼狽てた射撃が始まつた、ダッダッと敵の追撃砲が白煙をあげる、わが爆撃機はその中を悠々と旋回してゐたが、突如見事な戰鬪隊形を整へた。やるぞ！と見てゐると先頭の一機がサッと急角度の線を描いて地上三、四百米まで降下したかと思ふとビール瓶のやうなものがスウーと機體から落下し機は異樣な轟音をたてゝよぢるやうに上昇した、とたんにダーンと敵陣地に濛々たる黒煙があがつた。

續いて二番機三番機と同じ角だ、同じ操作で爆撃を繰返す、必死の敵は持つてゐる銃砲といふ銃砲を空中に總動員しての應射振りだが、わが機は小癪なとばかり敵の猛射を尻目に勇敢な爆撃また爆撃の連續だ。

ダーンと爆彈が敵陣地に命中する度に、見てゐる記者は溜いんが下る思ひだ、思はず快哉を叫んだ、この痛快な爆撃は城内と敵の砲壘に向つて約一時間に亘つて行はれた。

敵はわが荒鷲群の威力の前にすつかり士氣を喪失して間もなく沈默した。これに勢ひを得た蒙古騎兵がその虚につけ込んで猛烈なる進撃を開始し丘陵地帶に待機してゐた後續部隊も堰を押し切つた奔流のやうにこの山間の平地に落ちて行つた。

記者はその夜の八時頃、東の城門をくゞつた、すでに城内には住民の影もなく、朱に染まつた敵の死體が累々と路上にころがつてゐた。城内は各所に火災をおこして、あかあかと夜空を染め、犇々とつめかけた騎馬の群は勝鬨のやうに闇に向つていなゝきを交してゐた。（完）

焚火

大脇一雄

「深みゆく他國の秋に
落葉あつめ
焚火するうれしさ。」

さむざむとゆく
秋に煙りて
行方知らぬ
靑甘きそのかほり。」

ふと耳にす
落葉の聲
ひととせのくらしに老いて
逝く瞬間のその音。」

ふとも見ぬ
枯草の中に
一輪の野菊
サンザシの實の赤黒きうずれ。

されば……………。」
思ひ出でぬ―思ひ出でぬ
故鄕の秋に
牛追ひしその頃。

煙にむせて
枯草に臥せば
ふと又耳にす
落葉の聲。」

深みゆく他國の秋を
ふきさらしの野邊にまろびて
たゞ一人
落葉焚くたのしさ。」

（一〇、二四、西公園にて）

講壇的
―三木淸の一文について―

三木淸―この人の書くもの、相變らず講壇臭味たつぷりであるが、十一月の『文學界』に書いてゐる短いもの『新しいコスモポリタン』は内容の點で注目を惹いた。簡單に言ふと、今日ドイツから追はれた連中も昔のやうな殉教者の位置にはゐない。ドイツのみならず、世界を通じて『新しいコスモポリタン』の形成が知られる。彼はさう言つて、政治一般に信頼を失つたインテリ群に『新しいコスモポリタン』といふ稱呼を與へてゐるのである。

確かに一應面白い觀察ではあらう。だが、このやうな『新しいコスモポリタン』の行き着く所は既に見透されてゐるとすれば、重要な問題はもつと外にあるであらう。面白い解釋、さうは思ふが、實際の場面に立ち向つては何ら積極的な力を持ち得ない說教―斯くて、三木淸の往年の潑剌さの喪失を寂しく感じたのである。（御垣衛士）

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△滿洲評論（十月廿三日號）橘樸「支那事變收束の諸條件、二」は示唆に富む論文ほか三つの時評と大住孝二「英國の國際關係と對支政策、上」等を掲げてゐる（滿洲評論社、十五錢）

△精軍（十月七日號）事變に關する諸記事を盛る（治安部調查課）

△博愛（十月十日號）第十六回赤十字國際會議假議事日程案、支那事變に於ける本社救護班、國際彙報社報等（東京市京橋區築地二丁目二、博愛發行所、十五錢）

△經濟統計月報（十月號）九月の大連財界情勢ほか諸統計を收錄（大連市敷島町八二、大連商工會議所、三十錢）

△實業之世界（十一月號）三宅雄二郎「東アジアの事變帶」小林一二「北支興業組合の提唱」大口喜六「戰後經濟政策大綱」長谷川光太郎「戰時及び戰後經濟への示變」黑木和夫「滿鐵か興中公司か」山田靖夫「日滿纖維工業は果して成功するか」等掲載（東京市芝區芝公園五號地、實業之世界社、三十錢）

△創造（九月號）神田正雄「支那は近代國家か」井口貞夫「支那利權爭奪戰」その他支那事變特輯記事を盛る（東京市神田區淡路町二丁目七、創造社、三十錢）

△正金週報（十月廿二日號）諸威國一九三五年一九三六年國際收支、暹羅米價並に生活費の騰貴等を掲載（横濱正金銀行調查課）

砲煙下の虹口に 居留民保護の二ケ月 (一)

溝口權七少佐手記

【軍艦○○艦上にて中村特派員】今次の支那事變勃發の前夜八月十二日虹口地區の警備についた旗艦○○の陸戰隊は約二ケ月完全に租界警備の任務を果し十月九日を前後として全員交代のため複雜微妙を極める共同租界にあつてともすれば動搖し勝ちな居留民の人心を安定させ、且つ外國との關係も頗る圓滿に運んだ指揮官溝口少佐、副官古賀少尉をはじめとして各陸戰隊員の苦心は並々ならぬものがあつた、多忙なる陣地にあつた日の苦心の數々を記憶を辿つて記した溝口少佐の手記こそ勇壯な第一線の物語りとゝもに我々の感謝しなければならない一篇の報告書だ、殊に緊迫した空氣のうちに重大なる使命をもつた兵力が移動してゐるにも拘らず、たゞ人心の動搖を防がんとする心から强ひて表面平靜さを裝つて人と談笑したのは正に大事決行を秘しながら紅燈の巷に酒色をもつて人の目を欺いた大石の心境である

日支間 の危機も遂に來るところまで來た、出雲陸戰隊揚陸の命に接したのは八月十二日午後十一時過ぎであつた、艦長諏田大佐は莊重なる言葉をもつて出雲の名譽を發揚せよとの激勵の訓示があつた 我等は勇躍して配備についたが市中は時刻が遲いにも拘らず避難民は續々として荷物を車に一杯積み或は小脇にかゝへたりして走つてゐる、その雜沓、その不安げな樣子は想像以上であつた、配備を完了し陸戰隊本部にその旨報告したのはもう十三日午前零時半であつた、自分は指揮官として本部を日本人倶樂部に置いて虹口警備の重任についた虹口は共同租界のうちでも日本人街とも稱すべき所で日本人の大部分はこゝに居住し商店を開いてゐるのである、倶樂部に入つたものゝ何となく氣懸りになりそのまゝソファーに轉つたまゝ夜を明してしまつたこの日から各商店は一齊に閉店し避難民は陸續ガーデンブリッヂを渡つて舊英租界へ行く、此の姿を見て去る者は去れ、しかし只怪我なく過ちなくと念願するのみであつた中には哨兵の水筒から水を貰つて喉をうるほす老婆もあれば子供の手を引いてやる兵も居る、日本の兵隊は何處までも親切だ、銃劍を振ふでなく言葉も通じないが優しい素振りで通行を整理してゐる

この日 早速この前の事變で惱まされた便衣隊狩をやつた、この先手を打つた便衣隊狩で彼等の跳梁を封じ後方攪亂の憂を解消したのである、どれ程居留民が安心したか知れない、當時はまだ陸戰隊は滿を持して一彈も射たず所謂一觸即發の自重的態度をとつてゐたのである、ところが夕方敵は砲口を開いたので我は遂に堪忍袋の緒を切つた、陸戰隊本部からの電話はジリジリと鳴る、傳令は凛として

本部より戰鬪開始……

と報告する、俄然肅然たる氣分になつて各部に「戰鬪開始」を命じた、いよいよ警備より戰鬪に轉換したのだ 彼等支那軍を徹底的に膺懲すべく正義の刄を振ふことが出來るのだ 部下の命は貰つたぞ、お互に御國のために働かう、そして居留民だけは最後の一兵となるまで死力を盡して守らねばならぬ、之がこの瞬間に卒然と頭に浮んだ感じである、急に身も心も輕くなつたやうな氣がし、武人としてこの晴れの舞台に登場し得たるを心から喜んだ

虹口地 區は最前線でないとはいへ北と東は第一線である、時に東に對する心配は大であるのみならず兵力は稍々過少の感があつた、然し前線の苦戰を豫想さるゝ時どうして增兵を頼むことが出來るだらう如何なる事があつても與へられた兵力で全力を盡してやらねばならぬと堅く決心した、けれども後續部隊の上陸を見るに及んで陸戰隊本部より增兵された、司令官は全線の戰鬪を指揮しなければならない多忙の際にも終始虹口地區の居留民を心配され絶えず「一彈でも虹口に敵彈が落ちたら直ぐ知らせよ」「いまは虹口には彈丸は落ちないか……」といはれる、これは敵を反撃し制壓沈黙せしめ少しも居留民に不安の念を與へまいとする有難い御考へであつて我等は幾度となく涙ぐんだ、わが部隊で最初に彈丸を射つたのは初めて敵機が襲來して來た時であつた、何しろ臍の緒を切つて初めて經驗する空爆の洗禮だ、妙な氣持だ、ところが疑心暗鬼とでもいふか江上のわが艦艇から一齊に射ち出す防空砲火の音響が街路の至るところに反響する、これが便衣隊の射撃と化けて居留民の耳に入り「彼方に便衣隊が居る、こゝにもゐる」と各方面から掃蕩願を出して來た、行つて見ても何もない、徒らに民心を刺戟するばかりであつた その後敵機來襲の場合は兵員に射撃をさせないことにした敵を見て射たない馬鹿者と思はれるかも知れないが、これも居留民の人心を安定させるためには全く致し方がなかつた(未完)

鐵唸る東邊道 通化省の山々を見る (二)

堀井宣之

一行は四道江においてはじめて鑛物の自然的存在に遭遇した、山の中腹でバスが止まると道の兩側の土は黑ずんでゐた、杖のさきでほじくるとぼろぼろと崩れたが掘れば掘るほど眞黑になる、表面は風化してゐるが中は立派な石炭だといふ、この山の石炭の量については滿炭ですでに概査を終つてゐるが、早く精密な調査を行ふ必要がありますねと言つて田村次長と松岡鑛務科長が相談してゐた

この地點からさらに進んで五道江、六道江退いて頭道溝門から南へ下つて鐵廠子の一帶は石炭地帶で今後通化省の鐵鑛を原料として起る製鐵事業に對し石炭供給地となる

バスはさらに進んで五道江六道江と通過したが到るところで山の中腹に石炭の黑い露頭が眺められる、一行はかくも目に見えた豐富な鑛產資源が未着手のまゝ放置されてゐるのに驚きながら午後五時林子筒の「老嶺鐵鑛調査隊宿舍」に到着、こゝで一夜の宿を貸して貰つた

□

この產業部老嶺鐵鑛調査隊は纓片技正以下十數名の人々で組織されてをり中に鑛發會社社員が三人交つてゐる、宿舍は滿人家屋を買つたもので壁の張り替へその他一切の手入れはみな調査隊の人々がやつて疊敷きならぬアンペラ敷きながらどうやら住める小屋となつてゐる

一行はこゝで山中の支那料理を御馳走になりながら調査にまつはる四方山の話を聞いた

本年五月この地方の地質調査に入つてゐた產業部大脇、滿鐵村越の兩氏は匪賊に追つかけ廻されながら老嶺を北から南へ山越えしようとした時道端に赤い鑛石を發見した、携へてゐる金槌で割つて見ると紛ふ方ない赤鐵鑛、而も相當優秀な品位を持つたものだ、これが老嶺鐵鑛發見の端緒でこれにより通化省内の他の地域にもさらに鐵鑛が存在しはしないかといふ希望を抱かせるに至つた意義ある發見である、兩氏の報告によつて直ちに產業部の纓片技正を主班とする調査隊が組織され老嶺山中に分け入つて搜査した結果七月廿三日午後一時に至り千四百八米高地の中腹に赤鐵鑛の露頭を發見した、調査は直ちに掘割に移り旣に掘割は十に及んでゐる、その結果に依れば此處の地層は上から鐵、石灰岩、粘板岩、珪岩、鐵、石灰岩、雲母片岩といふ順になつて居る、目下は一番上の鐵の層に就て厚さと幅と長さを調べてゐる

厚さ約十六米でその上部三四米と下部三四米が富鑛です、品位は五十五%乃至六十%位で大栗子溝の七十%には及びません、量に就ては何分まだボーリングをして居りませんので何とも申上げられません

と山師ならぬ調査隊の人々は甚だ控へ目である、凡そ鑛量に就ては「確實」と「推定」とがあり、更に大きく見積つて「豫想」がある「豫想一億噸といふのは少しは確實性がありますか」との記者の問に對し纓片技正は「いや、十億といひたいですな」と笑ひ乍ら答へた、然し兎に角目下推定してゐる五粁の長さが確實になれば二三千萬噸はのがれない處だらう

匪賊の心配に就て尋ねるとまだ三十四十の小匪團は時々出沒するとのこと、匪賊の情報のあつた日と雨の日は調査隊は休むほかはない

この前の第一班の視察團が老嶺へ上られた時は通過された後に匪賊が出たので視察團は進路をお急ぎになりました、しかし今度は心配は要りません、今晩もこの附近の通行人については鐘の合圖と合言葉とを併用して警戒してゐます、うつかり出て行くと捕まりますよ

その夜遲くまで誰何の聲が寢耳に聞えた、こんな匪賊の心配と戰ひつゝ朝は毎朝六時起床で顏洗ふ暇も惜しく山へ出かけて行く調査隊の苦心を思ひつゝ一行はアンペラの上で寢についた纓片技正の新京で見たのと見違へる髯ぼうぼうの顏が瞼の底に消えなかつた

【寫眞上は老嶺頂上調査隊新本部にあるトーチカ、下は大栗子溝に於る世界に冠たる七十パーセントの含有率を有する鐵鑛層にかけた掘割】

奉天省復興工作 成果を收めて一段落

=竹内省次長視察談=

奉天省公署が本春以來經費百萬圓をもつて省下本溪、撫順、興京、清原の四縣にわたり實施を急いでゐた治安肅清ならびに復興工作も漸く一段落となつたので、これが實況視察による明年度對策樹立のため竹内省次長は岡部官房事務官を帶同、去る二十四日以來三日間本溪縣下の視察をなし二十七日歸奉したが、復興工作の實績につき左の如く語る

本溪縣は興京ほか二縣とゝもに省下でも最も匪害、水害等に因る疲弊甚しく復興工作が絶對必要なので萬難を排し實施を急いだわけだが、視察して見るとこの一年足らずの短期間に國道、警備道路、通信網等の敷設はじめ集家部落の結成、家畜種子の配給民食維持ならびに靑田賣買防止政策等大體において豫期の成果を收め、殊に山間僻地を縫ふ一千粁餘の自動車路開設、集家の實施等は治安確立農村振興上劃期的意義を齎らしてゐる、集家についていへば全縣下に散在する四萬七百九十六戸、廿七萬八百十一人中約四分の一に達する九千八百七十二戸、六萬八千五百人が夫々指定個所に集家を實施し一千戸の新築その他修築家屋に轉居して新生第一歩を踏出してゐるこれら工作遂行上必要な勞力配給は窮民救濟を目的として地方民に勞賃を支給して計畫的に行ひ同時に產業助成、施療宣撫等凡ゆる方面から復興を圖つたゝめ匪賊の蠢動の餘地は殆んど無くなり、一夏のうちに二百名の匪賊が歸順したが、何れも道路工事その他に喜んで從事してゐる、今後も歸順が續出するだらうが彼等に適當な職業を與へることが必要だ、只この冬は集家の家屋は壁が乾かぬので特に衞生に注意すること、又集家のため農耕地が遠くなつたので放棄するやうな事のない樣對策を講じ、さらに明年度春耕期に農民を積極的に補導助成することが是非とも必要だと考へてゐる

全滿劍道大會觀戰後記

福地吉夫

日本精神の發揚と、友邦滿洲國へ武士道精神の移植てふ名目の本に年々開催されてゐる「全滿武道大會」も、其の第四回を迎へ、年と共に隆盛におもむき、今年は會場手狹の爲、柔道、劍道を二回に別けて實施しなければならない程、盛になつたのは何といつても喜しきことである、然るにその實施方法の誤りや、審判法の不好い爲に、一部有識者間に不平を有するものゝ有ることは遺憾である

自分は主として、去る二十四日の劍道大會を見學したのであるが、次の諸點に於いて、大いに感ずる所が有つたのである

(一)實施方法に就いて

(1)日本人程時間的にルーズな國民は無いと謂はれてゐたのであるが、この點は、近年逐次改められ、諸種の會合、集合、大會の如き、時間が來ればキチンと開始される樣になつたことは、それがあたり前のことゝは云ひ乍ら、嬉しいことである

(2)武道に於いては、やはり内地で行つてゐる通り、少年、靑年、壯年、老年組といふ樣に別けて實施した方がいゝと思ふ 試合に於いては往々三段四段の高段を有する者が無段者に負ける事がある 然し乍ら、實際立合つた者には良く解ることであるが、無暗と姿勢をくづし、氣分も何も無視して唯、竹刀を當てさへすればいゝ所謂、竹刀の踊りをやつてゐる者との立合が如何に、やり難いかといふ事を―

唯小手先で、竹刀の先がちよつとでも相手の體に觸れると、得たりとばかりに「小手々々々々!!」と虚勢を張られては、餘程の人格者で無い限り、お互ひ人間である以上、ムカッと來るのは當り前でせう

この間の試合でも、旅大と京商Aの準優勝戰の如き、大連道場と、京商Aの優勝戰の如き、見學せられた方には良く判つたことゝ思ふ、いやしくも、大日本武德會其の他より三段四段といふ立派な免狀を頂いて居られる方は戰つて氣持を惡くするよりも、始めから我々の潔としない態度に出た方がいゝと思ふ、(少し極端かも知れないが、そうすれば、開催當事者の方でも、ダンダン考へて來ると思ふ)又、それに得意になつて、勝を與へてゐる審判も審判である(それこそ眞劍でやらせよ!!と云ひ度くなる)

(二)審判に就いて

(1)柔道の方は、割合、勝負が、はつきり分るので、餘り、審判に對する不平は無い樣であるが、劍道の方は、一瞬間に竹刀の動きで決せられるので、仲々不平が多い樣である、審判者が、頭の中に、現在の試合者は、何處と何處だといふことを描いてゐては、公平なる審判の出來るはずがない 又、觀衆を心に描いてゐては、神聖なる審判の出來るはずがない

(2)劍道は劍の亂舞ではない、命と命をやり取りする眞劍な心の働きである、竹刀の先がちよつと體に當れば、取つてしまふのは、どうかと思ふ、氣分と劍と一致して振り下した刀が、眞に眞劍なれば、一刀兩斷と判斷した時に於いては、少し位の見當違ひの劍でも一本取るべきであると思ふ(この點軍隊劍術を見習ふがいゝ)

(3)一方が正々堂々の陣を進め、相手方を倒した場合、見苦しくメッタ打しないで、瞬間一本入れた場合は勿論、戰心で留めた場合でも、審判としては、すかさず、一本取るべきである、打たなければ取らない審判ならばホンの初心者でも審判は出來るのだ

(三)試合者に就いて

(1)近年大分、相手を侮辱した言動をなす者が、尠くなつたのは喜ぶべき現象であるけれども當大會に於いても、まだ二、三之等下劣者を見出したことは、何とも不快だつた、言動のみならず、相手弱しと見れば、無暗と大家振つた試合をしてみたり、ちよつと當てゝは不正な引上げをしたり、無暗と躍つて歩いたり、竹刀の先で、床をたゝいたり、審判の顏を見たり、我々の大いに反省しなければならない所である

(2)相手方を倒した時、メッタ打をしたり、打たずに、ボンヤリしてゐたり、どちらも惡いと思ふ 堂々相手を倒したならばすかさず一本取るか戰心を示し、審判の聲が、掛つたならば、心平期せずして、相手方を抱き起してやる所に、日本三千年來の武士道的精神が、馥郁として香つて來るのだ

(3)戰へば、勝つべきだ!! 然し乍ら、負けて虚心坦懷、眞に風光晴月の心境を保持し得る人、それこそ眞に日本男兒として尊敬出來る人だ、勝つて、無暗と、オゴリ、負けて、打しほれたり、審判をくさしたり、何とも云ふことの出來ない、いやな感に打たれるものだ

以上大體大會を見ての感想を述べたが、要するに劍は技にあらずして、心なり我同好の士はこの點、良く理解研鑽以つて、日本神精の海外發揚を期すべきだ

哈鐵管内 混保檢査成績

十月中旬哈鐵管内混保檢査成績は寄託總數一九二車、前年同期の四八一車に比し四二%の激減を示し、更に前旬來の降雨の影響を受けて水分一五%程度の出廻りをみるに至り品質一般に低下した等級別割合は

等級	車數
一等	一〇九車
二等	七車
三等	五五車
四等	一四車
不合格	七車

なほ各線別成績左の如し(合格車數)

(線名)	(合格車數)
濱北	三
拉濱	九
濱洲	―
濱綏	―
京濱	一七三
その他	―
松花江河筋	―
合計	一八五
前年同期	四七二

國民精神 作興週間運動

【京城支局】國民精神作興週間運動は十一月七日から一週間全鮮一齊に擧行されるが南總督はこれを機會に戰時體制下に於ける半島民衆の精神的奮起結束現況を總督官邸からJODKにマイクを通じて全國中繼で母國へ放送すべく計畫中であるといはれ更に京城府でも時局の重大化に鑑み本年度こそは内容を擴大强化してその趣旨の徹底を期すべく大いに意氣込んで計畫を進めてゐる

北支向物資の 積出し盛ん

【京城支局】北支に於ける鮮產物貨の需要は日を逐うて增加しつゝあり之れがため釜山馬山、統營等の南鮮地方は清酒煎子、罐詰を始め食糧品の積出し多く頓に著しき活狀を呈するに至つたが北支の諸工作が進むにつれ更に同地方向け物資は漸增を期待さる

ラヂオ聽取の 特典を擴大

【京城支局】朝鮮放送協會では聽取者十萬突破を契機として從來の應召軍人遺家族扶助特典を擴大し總督府濟生院盲啞部を始め養老院、孤兒院、濟生院、行路病人收容所等の社會教化事業團體施設並に盲啞貧困者に對しラヂオ聽取料の免除特典を附與することに決定この旨發表した

冬期滿洲航空路 十一月から改正

二航路新設、連哈間每日連絡 旅客、速達の便宜增す

滿航は從來每年十月にダイヤ改正をしてゐたが時局の影響に依り十一月より改めることゝなつた、一般旅客の要望及速達郵便の狀況を考慮しその改正の主なるものは左の如くである

一、安東―蝴蹀―大連線新設 從來の奉天―輯安―新義州線は安東飛行場新設と同時に新義州着陸を安東に變更し更に蝴蹀、大連と延長す安東飛行場開設は稅關關係方面又交通上より旅客の便利となり新線開通のため蝴蹀と大連及安東其の他との旅客、郵便物は勿論物資の移動は活潑を呈するであらう

二、寶淸―富錦線新設 從來の佳木斯―寶淸間の定期は富錦よりの旅客には不便であつたがこの新線の開通により富錦、寶淸、佳木斯の連絡に好都合となり交通不便の地方人にとつて大いに歡迎されるであらう

三、大連―哈爾濱線優秀機就航 メーンラインのスピード化を圖るため空の豪華版國光號並にユンカー機は愈よ大連、哈爾濱を每日飛翔する事となり從來五時間の處も四時間で縱に結ぶ事となつた、尙この線は大連―天津線にも連絡し北支、北滿間も一日連絡(約六時間)は可能である

四、林東、孫吳飛行場新設 從來開魯―林西と直航を林東に寄航し北安鎭―黑河と直航を孫吳に寄航する事となつた

五、鄭家屯飛行場廢止 新京―鄭家屯―通遼中鄭家屯着陸を廢止し新京より通遼に直航す

六、大體に於て新ダイヤの特徵とする處は新京を中心とし長距離の地點を結ぶ放射線的航空路として特徵づけられてゐる

國都中心の放射航路

ソ聯の半島人壓迫

滿鮮人の排共熱を煽る

ハバロフスク地方居住の半島人十五萬人の奥地輸送は先般來監視兵搭乘の貨物列車で行はれ大體全部の輸送を終了したものゝ如くであるが、元來輸送狀況不良な鐵道を粗末な貨物列車に乘せられ寒い時期に遠い所まで送られたゝめに女子供の中には相當の病人も出てをり列車事故が續出し相當の犧牲者も出てゐる模樣である、該方面の半島人は國防上信用措く能はざることは數年前に既にソ聯當局により公言されてをり、滿洲國の成立後國境地方における密偵の取締を嚴重にするため今回の擧に出たもので、その後には除隊兵のロシア人、キルギス人を入れてゐる、これ等の半島人は永年の努力により築きあげた農業、漁業、採金等の生業を捨てゝ遠隔地方に移されるために非常に不安を感じ動搖してゐるが、政府の壓迫に泣寢入りして送られて行き、途中で出會つた半島人や日本人の旅行者に苦情を訴へてゐる、この移住の結果ハバロフスク地方は野菜供給に不足を來してをり、カムチヤツカや沿海州の漁業にも影響してゐる、かくの如きソ聯の半島人壓迫はソ聯の民族政策の破綻であり、ソ聯賴むに足らずといふことを半島人や滿洲人に認識せしめ、曾つてソ聯を慕つてゐた民族間に排共運動を起さしめる原因をなしてゐるといはれる

治廢後の融和を圖る 人事交流の妙

關東州廳長官更迭

內務局長官大津敏男氏は關東州廳長官に、御影池關東州廳長官が內務局長官に就任することに決定本日の日滿兩國閣議を經て夫れ〳〵發令されることゝなつたが、今回の人事交流は治外法權撤廢後の融和を目的とする日滿高首腦部の人事異動で滿洲國よりの關東局入りは最初であり注意を惹くものがある、即ち十二月の警察權移讓に依り五千の關東局警察官が滿洲國入りをするに就いて關東局職員間に人望のある御影池長雄氏が內務局長官に就任したことは、滿鐵社員最高幹部として民生部次長に就任した宮澤惟重氏のそれと同樣の意味を含んだものと解され、官房文書課長、警務課長を歷任した同氏今後の手腕は期待される、また一方大津氏の關東州廳長官轉任は實質上の榮轉であり、殊に從來の例を破つて關東局外機關よりの就任は注目に値する、治外法權撤廢準備街村制度も殆ど完成した今日、大津氏の離京は各方面から惜しまれてゐるが近き將來に於て關東州の滿洲國返還實現の場合は得意の敏腕を振ふべく、昭和十一年八月內閣調査官より民政部總務司長に就任以來、全滿を馳驅し、先天的記憶力と精力を以て地方事情を研究、省地方費の設定、街村制度の確立に努めるとともに地方滿系官吏の人心收攬に努めた功績は特筆に値するものがある、轉任の報を齎らして惠民路の代用官舍に大津氏を訪れると二十數貫の巨軀を心經痛に惱まされ休養中であつたが「辭令を出したのは事實だが未だ正式發令がないので……」と前提して左の如く感想を語る

いま轉任するのは非常に殘念だが、大連に行つても滿洲國に對する氣持は變らないよ、目と鼻のところだし事務關係で屢々來京もするから、着任以來一ケ年三ケ月、非常に多忙であつたが治法撤廢の準備も大半片付き、地方制度も九分通り進んだから事務的の心殘りはないわけだ、大連に行つてからはウンと勉强したいと思つてゐる【寫眞は大津內務局長官】

關東局警察官異動(警部補以上)

廿八日付を以て關東局警察官警部補以上の異動が左の通り發令された

警視 阿部孝作(沙河口) 補鞍山警察署長
警部 南政一郎(皮子窩) 補大連沙河口警察署長
警部 渡邊宣明(小崗子) 補皮子窩警察署長
警視 加藤爲一(鞍山) 新京警察署兼警務部警務課勤務を命ず
警部 下田謹(大連) 新京警察署兼大連警察署勤務を命ず 但し當分の間兼務署に於て勤務すべし
警部 阿部勇吉(安東) 新京警察署勤務を命ず
警部 西條磯七(安東)
警部補 岡部政次(安東)
同 高木義直(州廳保安)
同 柳澤簡一(鞍山)
同 柏木喜作(奉天)
同 淸水瞭(奉天)
同 岡本新一(大石橋) 新京警察署兼警務部警務課勤務を命ず
警部 谷口新五郎(大連)
警部補 高柳信一(旅順)
同 大坪源吾(皮子窩)
同 安倍忠義(大連)
同 浪越鵬一(沙河口) 奉天警察署勤務を命ず
警部補 渡邊熊雄(水上)
同 松原兼義(沙河口) 撫順警察署勤務を命ず
警部 河本七三郎(大連)
警部補 水越健三郎(皮子窩) 安東警察署勤務を命ず
警部 大澤爲楠(練習所) 鞍山警察署勤務兼警察官練習所教官を命ず 但し當分の內兼務所に於て勤務すべし
警部 宮本五郎(州廳衞生課) 大石橋警察署勤務を命ず
警部 木下寬裕(沙河口) 大連警察署勤務を命ず
警部 高野榮五郎(州廳警務課) 旅順警察署勤務を命ず
警部 松島仁平(旅順) 大連沙河口警察署勤務を命ず
警部 森山得露(沙河口) 大連警察署勤務を命ず
警部補 諸岡正雄(小崗子) 警察官練習所教官兼務を命ず 但し當分の間兼務所に於て勤務すべし
技手 松本勇(沙河口) 通譯生 鈴木甚助(大連) 新京警察署勤務を命ず
技手 澀澤梅藏(鞍山) 安東警察署勤務を命ず
技手 池端武男(大連) 鞍山警察署勤務を命ず
囑託 目黑淸(大連) 鞍山警察署武道教師を囑託す
囑託 山根福吉(小崗子) 開原警察署武道教師を囑託す
囑託 神田久太郎(練習所) 安東警察署兼警察官練習所武道教師を囑託す 但し當分の間兼務所に於て勤務すべし

草刈奉仕の馬糧殘り 窮民燃料に補給

各地區の隣保委員から分配

非常時國民總動員の精神訓練を發揚するため曩に星野總務長官が主唱して各官廳、會社、學校其の他各方面に行はれた草刈奉仕によつて得たる馬糧は既に獻納したが、その殘りの部分は市公署に於て例年行はれる冬期窮民燃料補給の一部に充當することとなり市立救濟院收容者三十名を動員し大車數台にて寬城子隣保委員宅及南關勞働紹介所迄運搬し其の地區の隣保委員が夫々これに協力し各貧戶に適宜分配せしめることとなつた

東公園入口の怪獸像の來歷

國都新京を訪れる內外人が必ず質問を發することになつてゐる新京東公園入口の二個の怪獸像に就いては在京人士の間にも其の古事來歷を知らぬ者が多く頻々と問合せがある狀態であるが調査の結果左の如く判明した

即ち同怪獸像はギリシヤの宮殿、メソポタミヤ、アッシリヤ宮殿等の裝飾などに散見する人首獸體鳥首獸體など當時の雜誌から模倣して中村孝愛氏が設計し東站鐵工所で鑄造近藤組の手で大正十三年起工十四年に竣功したもので經費は千二百三十四圓を要してゐる【寫眞は東公園入口の怪獸像】

× × ×

日滿教育聯合會 正副會長決定

新京日滿教育聯合會は從來韓前特別市長を會長に武田前地方事務所長を副會長としてゐて最近缺員となつてゐたが、今回同會を愈よ教育界の日滿親善を標榜する實力ある相互の教育研究機關となすことに決定したので、この機會に會長を新京中學校長矢澤邦彥氏に副會長を寬城子中學校長蘆紹庸氏に決定し總會を來る十一月十四日午前九時半より記念公會堂に開催日滿兩初等中等學校職員全員が出席の上、會務報告の後講演會及び映畫會を行ふこととして目下準備中である

自轉車盜難頻々

無施錠で路上に放置するな 捕れた常習の手口

最近市內各所に於て自轉車盜難事件頻發せるに鑑みかねて各署で犯人嚴探中であつたが偶々廿八日午後一時頃新京署谷本、川崎兩刑事が曙町四丁目附近警戒中同町某古物商で自轉車を賣却せんとする擧動不審の男を發見訊問したところ滿洲人に拘らず日本人と僞稱し兩刑事の隙を伺つて窓を破壞表に逃走を企てんとしたので兩刑事は飛び掛り大格鬪の擧句逮捕嚴重追及の結果市內各所に於て路上無施錠の自轉車約三十餘台を手當り次第竊取した旅順生れ住所不定王學英(二四)であることを自白した、これについて司法係では自轉車所有者に對し

最近自轉車盜難被害はおびたゞしく當局としても處理に困る程で、被害の多くは無施錠で路上等に放置する所謂所有者の不注意によるものが多いから充分注意されたい

と警告してゐる、尙右贓品中四臺は發見されたが、心當りの者は同署司法係まで申出でられたいと

社金五千圓横領發覺

新京警察署谷本刑事は廿七日午後永樂町一丁目太陽ホテル投宿中の本籍茨城縣久慈郡太田町二一九〇、現住所牡丹江日照街菱木兼吉(三三)を本署に檢束極秘裡に取調べ中であるが、探聞するところによれば菱木は元滿洲〇〇株式會社新京支店に勤務、本年九月上旬牡丹江支店に轉勤さらに最近同社を馘首された者で新京支店在勤中に於て事業に手を出し失敗を重ねその穴埋めに社金五千餘圓横領費消せることが發覺檢擧されたものである

民衆感謝の具現

北鎭廟主の遺言に認められた 遺產の一部を協和會に寄附

滿洲建國こゝに五年餘王道の慈光は僻陬の地にも洽ねく四十萬民衆は北支の動亂をよそに鼓腹擊壤、實りの秋を樂しんでゐるが、廿八日協和會中央本部にこれ等民衆の國家への感謝をそのまゝ現した快ニユースが屆けられ、本部員一同をいたく感激させた、すなはち錦州省北鎭縣第一區で縣民の信望を一身に集めてゐた北鎭廟々主志參師は本月上旬大往生を遂げたが、その後親族一同が遺言書を開封したところ

遺產の中から金二百圓を國家に寄附す

と認めてあつたので協議の結果、二百圓を協和會の手で有效に使つて貰ふことになり、代表者が北鎭縣分會に出頭、この旨申出でた、同分會は直ちに中央本部にこれを送付した譯であるが、本部では目下募集中の協和號獻金の中にこれを加へ故人の遺志を生かすことゝなつた

商業教練査閲

新京商業學校の教練査閲は大澤中佐査閲官のもとに廿八日午前八時三十分校門前の閲兵分列より開始された午前中全學年にわたり好成績のうちに執行され午後二時より同中佐の講評あり午後三時終了した

明治節〝軍歌の夕べ〟 組合、曲目決定

初中等學校代表生徒出演

十一月三日明治節奉祝行事の一つ『軍歌の夕』は時局柄最も相應しいものとして各方面から多大の期待をもつて迎へられてゐるが參加校は滿鐵初等中等學校全部で一校十五名內外で演出時間は約五分間各學校の組合せ及び曲目は左の如く決定した

△童謠 日本男子(新京幼稚園)△軍歌 拔刀隊(中學校)△同 勇敢なる水兵(商業學校)△同 露營の夢(敷島高女、錦ケ丘高女青年學校女子部)△同 婦人從軍歌(滿鐵醫院)△同 關東軍軍歌(室町小學校、西廣場小學校)△同 皇軍戰勝の歌(普通學校)△同 非常時日本(公學校)△同 鐵カブト(八島小學校、三笠小學校)△同 進軍の歌(白菊小學校、櫻木小學校、順天小學校)△各學校合同齊唱(ブラスバンド指導)、開會の辭直前君ケ代、明治節の歌 軍歌終了後日本陸軍、日本海軍

新京土產品組合秋季總會

新京土產品組合では來る十一月二日午後二時より記念公會堂に於て秋季總會を開催、事業報告の後名所入り風呂敷せんべい等新京の指定手みやげ品を審議し、大連みやげ品組合より發議された全滿みやげ商組合聯合會設立の件を附議

決定することとなつた

滿鐵社員慰安映畫會開催

滿鐵派遣社員殘留家族慰安映畫會は三十日午後一時から西廣場滿鐵倶樂部で開催するが映畫は旗本八萬騎、舞扇等で社員外の入場は整理料として十錢を徵收する

宮本氏送別宴

最高法院審判官宮本增藏氏は今般吉林省高等法院次長に榮轉することになつたので、茨城縣人會では同氏が多年同縣副會長として要職にあり、永年の功勞を犒ふため榮轉送別の祝賀を兼ね來る十月三十一日午後六時新京中銀倶樂部に於て有志懇親會を催すことになつた、縣人の多數出席を希望してゐる、會券は金四圓で當日持參、出場希望者は電話3―三四一九縣人會事務所に申出られたいとの事である

ふぐ料理專門 廣味屋開店

秋の味覺はまづふぐ料理から吉野町二丁目廣味屋は新京初めてのふぐ料理出前專門店として開店したが店主弘津正行氏はふぐの本場といはれる下關で多年の經驗を有し料理は總て主人自ら腕を揮つてゐる獨特の香りと風味を持つヒレ酒は左黨の歡迎を受けてゐる

體育聯盟の田中君風邪を引いても決して アスピリンなどは飲まぬさうな、ではどうするかと云ふと▼酒を飲むんださうである、それもちび〳〵やつたんでは駄目、徹底的にやつてぐでん〳〵に醉拂ふ、さうすると翌日はケロリと癒つてゐる▼ほんとかうそか知らないが、此の間もボストンなるスタンドで映畫協會の若い連中多前に盛んに氣焰をあげてゐた▼ご馳走になつた面々、後で先生時々風邪を引いてくれゝば良いがなとつぶやいてゐたが▼それでは體の風邪が癒つても財布が代りに風邪を引かねばよいが

天氣と氣溫

けふの天氣 北西の風晴
日の出 前七時十分
日の入 後五時三五分
月の出 前一時五八分
月の入 後二時五五分
きのふの氣溫 最高一一度二 最低四度九

義人長七郎

(實上演映畫化) 中川雨之助 竹枝一二郎畫

(八十六)

護持院ケ原(三)

將軍は、何故そんな和やかな態度に出たのでせうか。」

實はこの時、將軍の心は、長七郎に對する一抹の疑ひに曇らされて居たのです。

と、いふのは、さきに高崎城内お墨付の盜難といひ、續いて雜司ケ谷お鷹野の折の狙撃事件といひ、將軍もまた「父の無念を晴らさんとする長七郎の陰謀でないか」といふ疑ひを挾んで居たからであります。

その矢嗜に、今夜の出來事です。

曲者の出現も不思議ですが、ちやうど、誂へたやうに長七郎の來合せたことの方が、將軍には、寧ろそれ以上奇怪に思はれてならないのです。

「曲者を遮つたのは、長七郎自身が、予に近づかうとするための手段かも知れない……?」

さういふ風に疑ひ考へると、將軍は、現在目の前に居る長七郎に對して、曲者以上の危險を感じずに居られなかつたのです。」

だから、思ひ内にあれば、色外に現れるで、この場合、將軍は長七郎に對して、どんなにも、叔父甥の間柄になつて、打解けた言葉をかける氣には、なれなかつたのです。」

「長七郎!」

將軍の言葉に、鋭さがあります。

「はッ」

長七郎は、うや／＼しく頭を低げました。

「大久保の爺いから聞いたが、高崎にて盜難の墨付を、其方の手から、予に返すさうぢやの」

「御意ー」

と答へましたが、しかし長七郎、面喰つてしまひました。こんな顔で、胸から胸に、お墨付の盜難を持ち出した將軍の氣持ちが分らなかつたからなのです。」

「先づそれ迄は、會ひたくないぞ。墨付が予の手に戻つた時、今夜の罪も、改めて言ふぞよ」

と冷たく言ひ切つた時、將軍の姿は、もう歩き出してゐました。

お供の者も、慌てゝそれに從ひましたが、中には氣の毒さうに、後ろを振り回り／＼行く者もありました。

長七郎は、ピタリと大地に兩手をつかへたまゝ、暫らくは身動きも致しません。

涙が、頬を傳つて、ハラ／＼とこぼれるのです。

「あゝ、この世には、神も佛も在さぬか。自分のこの正しい心が、何故將軍には通じないであらう…」

身に覺えの無い疑ひは、苦汁を呑まされる以上の苦しみです。その苦しみに喘ぐ長七郎でした。

この時、何者か、闇の中を縫ふかに、こちらへ歩み寄る足音が聞えました。

近づいて來たのは、やはり武士でした。

その武士は、慇懃に、

「長七郎さま」

と、言葉を掛けました。

長七郎、はッと我に返つて、

「何者か?」

「拙者にござります」

と、武士は一段近々と差寄り、宗十郎頭巾から漏れる目鼻をくつゝけるやうにして、

「柳生でござる」

といひました。

「アツ、先生!」

それは、柳生但馬守宗矩でした。

常時劍道の師として天下の要望の的となつてゐる但馬守が、[illegible]何しに現れたか、不思議でなりません。